

# 2023 年度 環境監視結果年報

2024 年 9 月

中部国際空港株式会社

## はじめに

中部国際空港株式会社は、2016(平成 28)年 4 月、「中部国際空港に係る環境監視計画」を改定し、2016 年度よりこれに基づく環境監視を実施している。

本書は、この環境監視計画に定める調査項目である航空機騒音について、2023 年度（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）の調査結果を①環境基準値との比較、②推移の 2 つの観点から、それぞれ整理することにより、中部国際空港の供用が周辺地域に与える環境影響の程度を把握し、年報としてとりまとめたものである。

とりまとめにあたっては、中部国際空港株式会社が設置する公正・中立の立場の「中部国際空港の航空機騒音に関する検討委員会」において、科学的、客観的な検討・評価を受けた。

# 目 次

1. 気象の状況 .....	1
2. 空港の運用状況 .....	3
3. 環境監視結果及び評価	
航空機騒音 .....	8
(1) 航空機騒音の評価指標 .....	8
(2) 環境監視結果 .....	10
ア 常時監視結果 .....	12
イ 定期監視結果 .....	19
(3) 航空機騒音の項目別比較検討 .....	22
ア 環境基準値との比較 .....	22
(ア) 常時監視結果 .....	22
(イ) 定期監視結果 .....	22
イ 推移 .....	27
(ア) 常時監視結果 .....	27
(イ) 定期監視結果 .....	28
(4) 航空機騒音の評価 .....	30

参考資料

# 1. 気象の状況

## (1) 気象観測

名古屋地方気象台、中部航空地方気象台、アメダス南知多観測所の気象観測結果は表 1-1のとおりであり、中部航空地方気象台における風向出現頻度は図 1-1のとおりである。

2023 年度の中部航空地方気象台における最多風向は北西であり、全体の 18.2%を占めた。

表 1-1 名古屋、セントレア、南知多における気象観測結果

気象要素	地点	2023年										2024年			年間
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
平均風速 (m/s)	名古屋	3.5 (3.3)	3.2 (3.1)	2.6 (2.7)	2.6 (2.8)	3.3 (2.9)	2.4 (2.8)	2.8 (2.7)	2.7 (2.6)	2.6 (2.9)	3.1 (3.1)	3.3 (3.4)	3.7 (3.5)	3.0 (3.0)	
	セントレア	5.8 (5.6)	4.9 (5.1)	4.0 (4.4)	3.7 (4.3)	5.8 (4.5)	4.0 (5.0)	5.6 (5.3)	6.1 (5.8)	6.1 (6.9)	6.5 (7.0)	6.6 (6.8)	6.9 (6.3)	5.5 (5.6)	
	南知多	3.4 (2.9)	3.0 (2.6)	2.4 (2.2)	2.2 (2.0)	3.0 (2.2)	2.1 (2.3)	2.9 (2.4)	3.0 (2.5)	2.9 (3.0)	3.6 (3.2)	3.7 (3.4)	3.9 (3.3)	3.0 (2.7)	
最多風向 (16方位)	名古屋	NNW (NNW)	SSE (NNW)	SSE (SSE)	SSE (SSE)	SSE (SSE)	SSE (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NW (NNW)	NNW (NNW)	
	セントレア	NW (NW)	NW (NW)	ESE (SE)	SE (SE)	SE (SE)	SE (NW)	NW (NW)	NW (NW)	W (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	
	南知多	NW (NW)	S (NW)	ESE (ESE)	S (S)	SSE (ESE)	S (NW)	NW (NW)	NW (NW)	W (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	

注1:名古屋は名古屋地方気象台、セントレアは中部航空地方気象台、南知多はアメダス南知多観測所を示す。

注2:平均風速及び最多風向の名古屋、南知多の欄の下端( )内の数値は、平成3年(1991年)～令和2年(2020年)の30年平均値(平年値)である。(南知多観測所:2000年11月に移設)

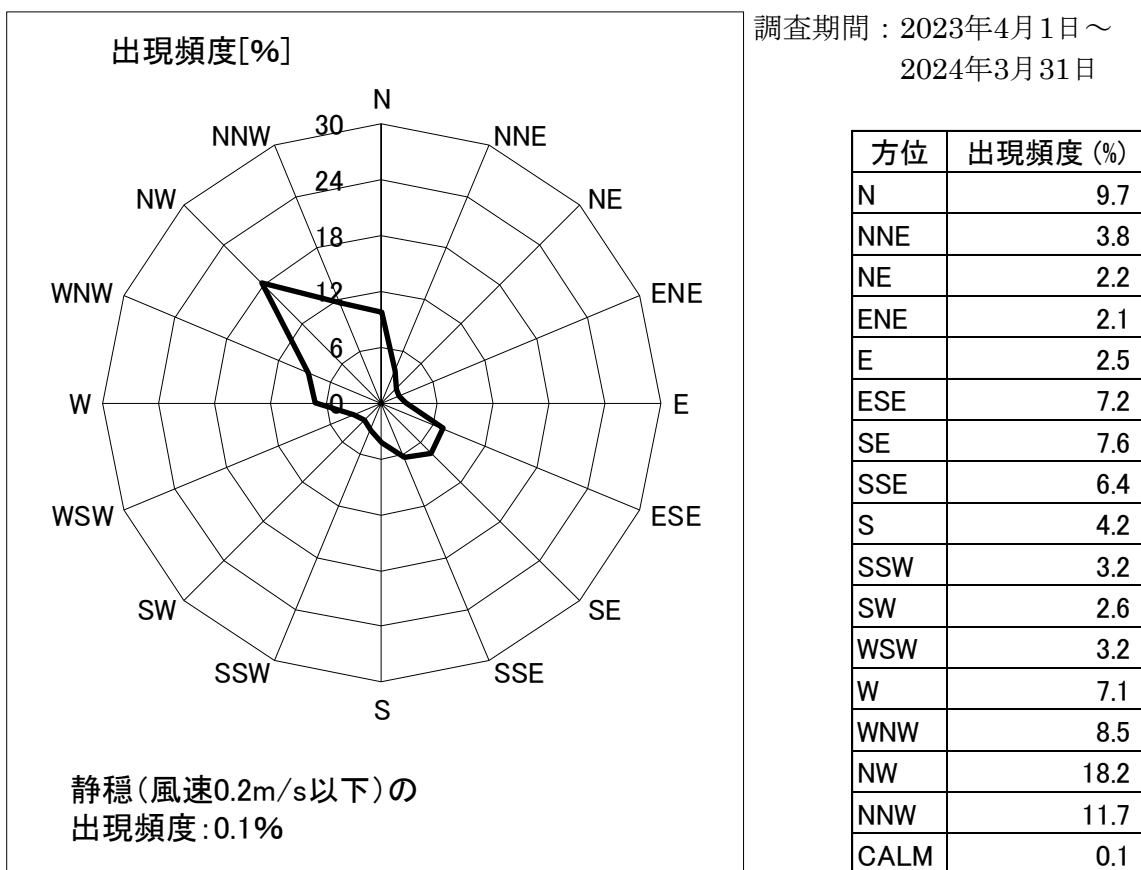
注3:最多風向及び平均風速のセントレア欄の下端( )内の数値は、平成17年(2005年)～令和2年(2020年)の16年平均値(平年値)である。

注4:年間の欄の数値は、年間の平均風速及び年間の最多風向である。

出典1. 気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

2. 「セントレアの気象」(発行:中部航空地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/chubu-airport/>)

図 1-1 中部航空地方気象台における風向出現頻度（風配図）



出典. 気象庁サイトのセントレアの気象データから集計、作成。

## 2. 中部国際空港の運用状況

2023年4月～2024年3月の中部国際空港の運用実績一覧については、表2-1のとおりである。

中部国際空港における航空年間旅客数、航空年間貨物取扱量、航空機の年間発着回数の開港からの年度別推移は図2-1、図2-2、図2-3のとおりである。

また、航空機発着の月別運用比率は図2-4およびその年度別推移は図2-5、航空機の最大離陸重量別年度別推移は図2-6、最大離陸重量別の主な航空機材リストは表2-2のとおりである。

航空旅客数、航空貨物取扱量及び航空機の発着回数は国内・国際のいずれも増加した。

中部国際空港実績一覧 [2023年度]

区 分	単 位	確 定 値														
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上期計	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	下期計	年度計
1. 航空旅客数	人	625,905 (186)	693,701 (186)	670,038 (178)	744,345 (155)	862,508 (150)	756,862 (170)	4,353,359 (170)	813,073 (151)	774,100 (143)	778,547 (136)	749,445 (140)	793,204 (139)	920,641 (133)	4,829,010 (140)	9,182,369 (153)
国 際 線	"	182,308 (899)	187,928 (899)	192,990 (808)	219,692 (605)	267,355 (583)	234,123 (601)	1,284,396 (689)	270,505 (531)	289,468 (396)	326,307 (299)	339,199 (259)	386,427 (266)	386,427 (255)	1,940,390 (304)	3,224,786 (391)
日本人旅客	"	48,955 (78)	64,249 (106)	69,632 (77)	86,560 (57)	119,913 (57)	103,375 (63)	483,044 (66)	105,749 (51)	124,599 (51)	112,419 (32)	105,404 (32)	108,614 (26)	171,513 (26)	728,298 (32)	1,221,342 (41)
外国人旅客	"	133,287 (952)	120,435 (798)	123,130 (832)	132,170 (628)	147,350 (601)	129,966 (579)	786,338 (703)	164,732 (509)	164,721 (339)	213,190 (285)	221,522 (252)	229,519 (280)	213,494 (245)	1,207,178 (380)	1,993,516 (380)
通過客	"	66 (1650)	3,244 (733)	228 (136)	962 (433)	92 (29)	422 (260)	5,014 (546)	24 (12)	148 (67)	698 (179)	1,558 (124)	1,066 (54)	1,420 (119)	4,914 (197)	9,928 (197)
国 内 線	"	443,597 (148)	505,773 (144)	477,048 (136)	524,653 (119)	595,153 (113)	522,739 (129)	3,088,963 (129)	542,568 (111)	484,632 (103)	452,240 (99)	420,961 (103)	454,005 (103)	534,214 (99)	2,888,620 (103)	5,957,583 (115)
2. 航空機発着回数	回	6,402 (130)	6,747 (127)	6,515 (124)	7,184 (120)	7,283 (114)	7,274 (126)	41,405 (123)	7,352 (122)	7,347 (118)	7,368 (119)	7,368 (123)	6,905 (125)	7,583 (120)	43,428 (121)	84,833 (122)
国 際 線	"	1,671 (268)	1,818 (284)	1,775 (255)	2,139 (240)	2,139 (240)	2,242 (252)	11,599 (259)	2,431 (265)	2,431 (216)	2,677 (219)	2,689 (219)	2,852 (225)	2,852 (225)	15,535 (239)	27,134 (239)
旅客便	"	1,133 (527)	1,238 (460)	1,234 (460)	1,388 (408)	1,539 (408)	1,571 (422)	8,108 (447)	1,743 (403)	1,756 (320)	2,073 (292)	2,201 (269)	2,084 (289)	2,230 (270)	12,087 (344)	20,190 (344)
貨物便	"	445 (134)	567 (138)	472 (134)	483 (128)	493 (134)	531 (132)	2,891 (133)	581 (155)	465 (101)	465 (105)	388 (116)	365 (107)	500 (118)	2,764 (116)	5,655 (124)
その他	"	93 (122)	113 (166)	69 (91)	83 (86)	107 (108)	140 (192)	605 (124)	107 (98)	108 (154)	139 (200)	100 (137)	108 (159)	122 (161)	684 (147)	1,289 (135)
国 内 線	"	4,731 (110)	4,929 (106)	4,740 (104)	5,230 (101)	5,144 (93)	5,032 (102)	29,806 (102)	4,921 (96)	4,544 (96)	4,670 (94)	4,679 (99)	4,348 (99)	4,731 (95)	27,893 (96)	57,699 (99)
旅客便	"	4,577 (110)	4,791 (106)	4,573 (105)	5,088 (99)	4,947 (99)	4,825 (102)	28,721 (102)	4,711 (96)	4,347 (95)	4,492 (94)	4,454 (97)	4,191 (100)	4,539 (95)	26,734 (96)	55,455 (99)
貨物便	"	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)	2 (-)	0 (-)	3 (-)	0 (-)	1 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)	4 (-)
その他	"	154 (111)	138 (100)	167 (91)	221 (187)	195 (97)	207 (107)	1,082 (111)	210 (99)	196 (106)	178 (96)	225 (143)	157 (75)	192 (81)	1,158 (98)	2,240 (104)
3. 国際貨物取扱量	t	8,994 (102)	9,328 (115)	9,603 (105)	9,542 (100)	8,499 (94)	11,004 (102)	56,970 (103)	10,095 (81)	11,103 (100)	10,734 (95)	8,841 (114)	9,623 (103)	11,905 (120)	62,301 (101)	119,271 (102)
積 込	"	4,941 (101)	5,306 (122)	5,248 (105)	5,209 (94)	4,528 (94)	5,797 (107)	31,079 (105)	5,306 (81)	5,444 (95)	5,713 (110)	4,511 (110)	5,033 (96)	5,755 (97)	31,762 (97)	62,791 (101)
取 卸	"	4,053 (102)	4,022 (107)	4,355 (105)	4,333 (96)	3,971 (95)	5,207 (98)	25,941 (100)	4,789 (81)	5,659 (105)	5,027 (97)	4,330 (119)	4,590 (109)	6,150 (131)	30,539 (105)	56,480 (103)
4. 国内貨物取扱量	"	973 (116)	1,015 (143)	1,110 (150)	1,104 (123)	1,120 (141)	1,010 (133)	6,331 (134)	1,056 (132)	869 (104)	993 (99)	663 (99)	718 (102)	812 (96)	5,111 (202)	11,442 (120)
発 送	"	498 (120)	410 (117)	496 (136)	467 (116)	492 (132)	461 (121)	2,823 (124)	449 (109)	478 (99)	532 (95)	346 (99)	385 (100)	417 (93)	2,608 (99)	5,431 (110)
到 着	"	474 (113)	605 (167)	614 (163)	637 (129)	628 (149)	549 (145)	3,508 (143)	628 (157)	391 (111)	317 (106)	371 (99)	395 (105)	317 (105)	2,503 (114)	6,011 (129)
5. 給油量	kl	35,491 (143)	37,082 (138)	36,836 (134)	38,875 (127)	41,026 (130)	42,488 (139)	231,797 (135)	43,215 (140)	38,286 (116)	39,964 (113)	37,148 (124)	35,384 (129)	39,136 (124)	233,132 (124)	464,929 (129)
6. 構内営業売上高	百万円	1,224 (247)	1,308 (236)	1,305 (236)	1,503 (215)	1,865 (233)	1,540 (229)	8,745 (216)	1,808 (216)	1,824 (203)	2,103 (194)	1,976 (196)	2,168 (231)	2,189 (202)	12,069 (216)	20,815 (216)
免税店	"	455 (673)	476 (689)	525 (605)	577 (459)	780 (571)	634 (513)	3,447 (565)	834 (458)	843 (365)	1,025 (328)	1,037 (317)	1,181 (381)	1,064 (337)	5,983 (412)	9,431 (412)
一般物販店	"	465 (181)	485 (169)	456 (167)	523 (160)	637 (161)	518 (163)	3,085 (166)	562 (141)	568 (143)	645 (136)	538 (132)	555 (154)	629 (142)	3,497 (141)	6,582 (152)
飲食店	"	304 (179)	347 (176)	324 (168)	403 (164)	448 (168)	388 (167)	2,214 (170)	412 (159)	413 (153)	434 (147)	401 (147)	433 (161)	496 (153)	2,589 (153)	4,802 (160)
7. 乗場者数	千人	856 (173)	943 (172)	894 (166)	1,012 (153)	1,148 (152)	959 (152)	5,812 (160)	995 (141)	971 (138)	1,042 (129)	989 (129)	1,032 (137)	1,178 (131)	6,206 (145)	12,018 (145)
8. 駐車場利用台数	千台	94 (146)	104 (147)	98 (142)	120 (131)	143 (137)	111 (135)	672 (139)	111 (121)	105 (119)	110 (117)	105 (117)	110 (126)	130 (124)	673 (121)	1,344 (129)

注1 ( )内数値は対前年同月比。小数点第1位を四捨五入。  
 注2 国際貨物取扱量は名古屋税関中部国際空港税関支隊発表のもの。  
 注3 集計者は増数取理の発表。  
 注4 一般物販店および飲食店は取扱表記。

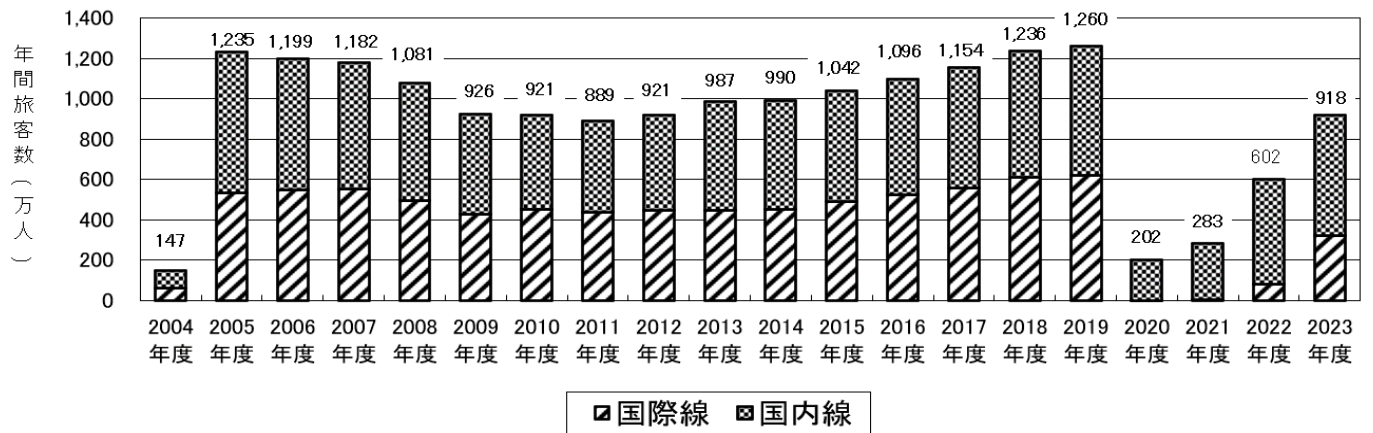


図 2-1 航空年間旅客数の推移

注 1：2004 年度の空港運用日数は、43 日間（2005 年 2 月 17 日～3 月 31 日）である。  
 注 2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

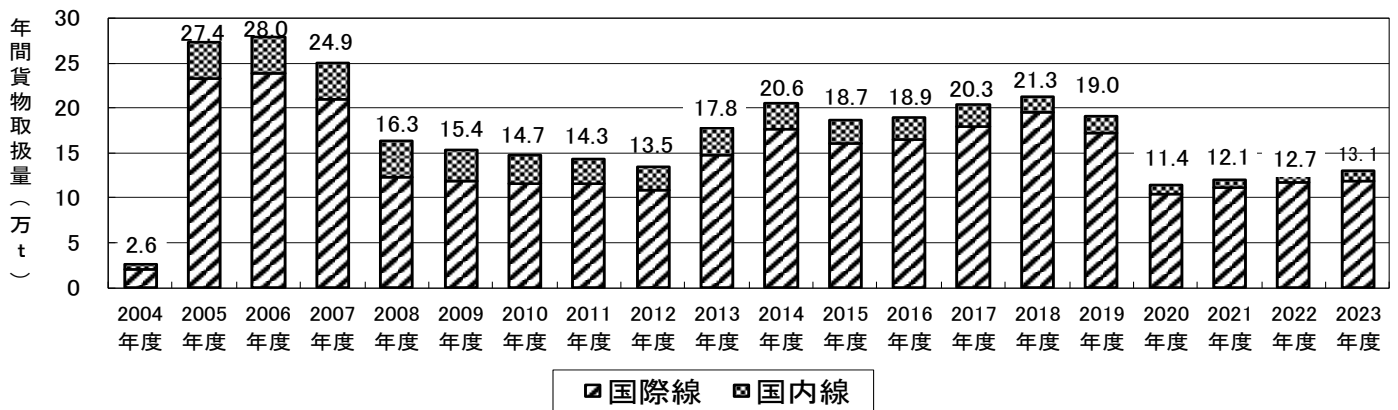
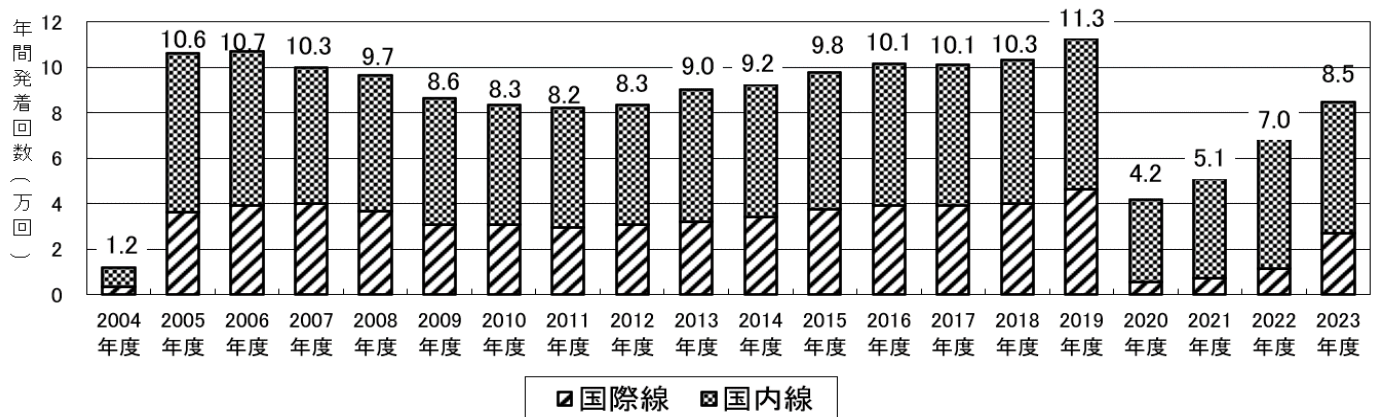


図 2-2 航空年間貨物取扱量の推移

注 1：2004 年度の空港運用日数は、43 日間（2005 年 2 月 17 日～3 月 31 日）である。  
 注 2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。



注 1：2004 年度の空港運用日数は、43 日間（2005 年 2 月 17 日～3 月 31 日）である。  
 注 2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-3 航空機の年間発着回数の推移

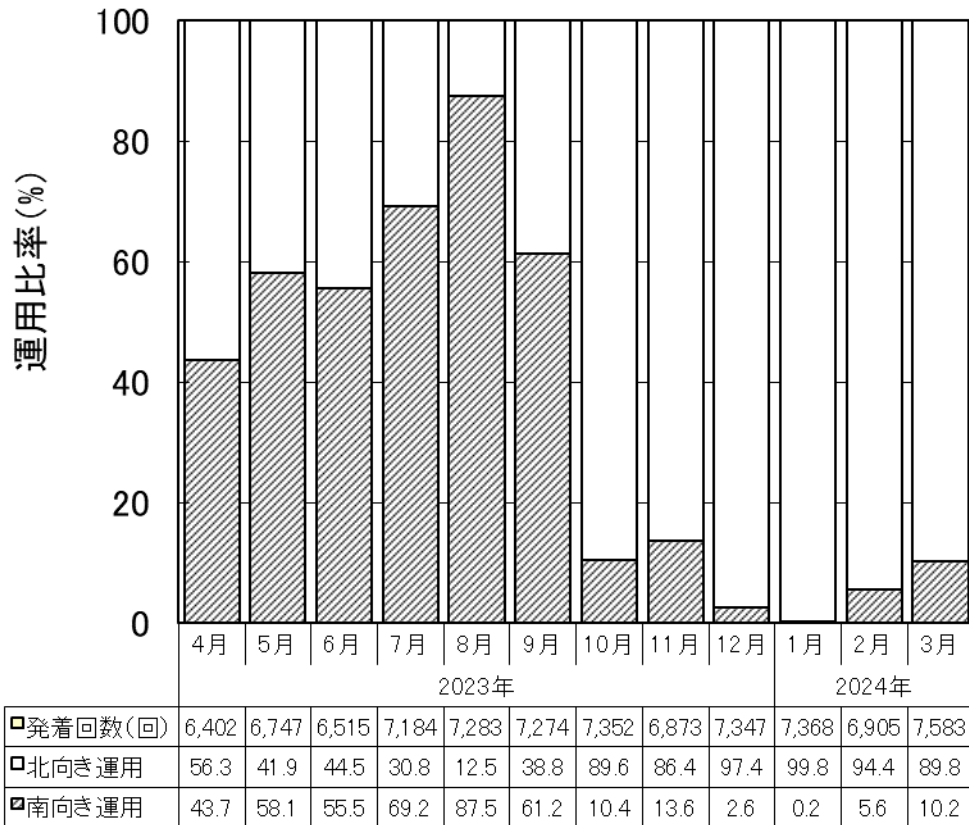


図 2-4 航空機発着の月別運用比率

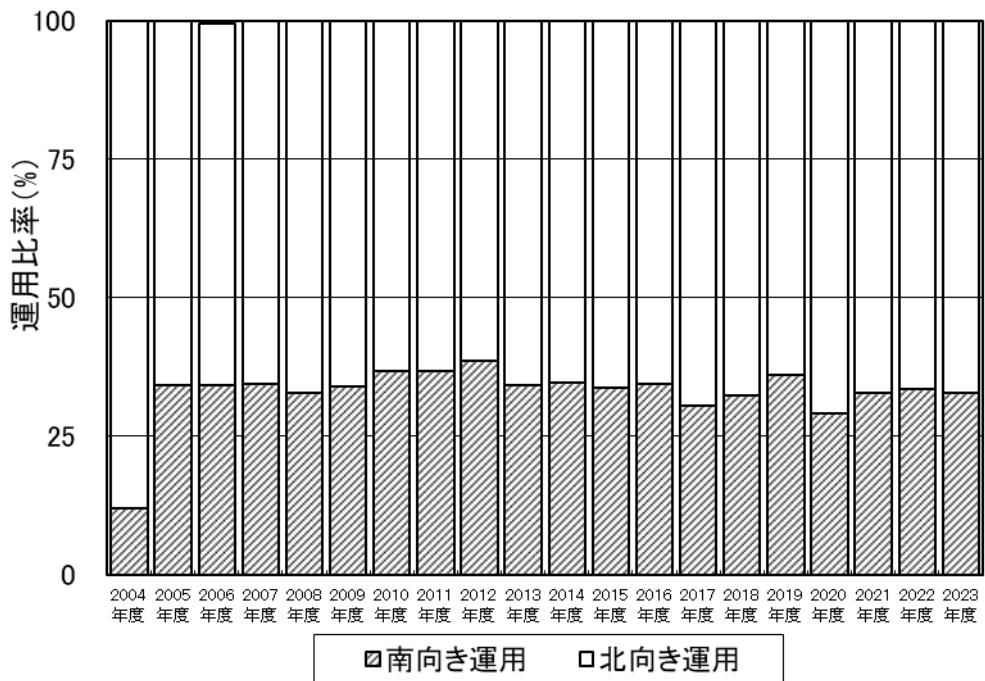


図 2-5 航空機発着の運用比率の年度別推移

2004年度は2月17日～3月31日の運用比率であり、参考として示した

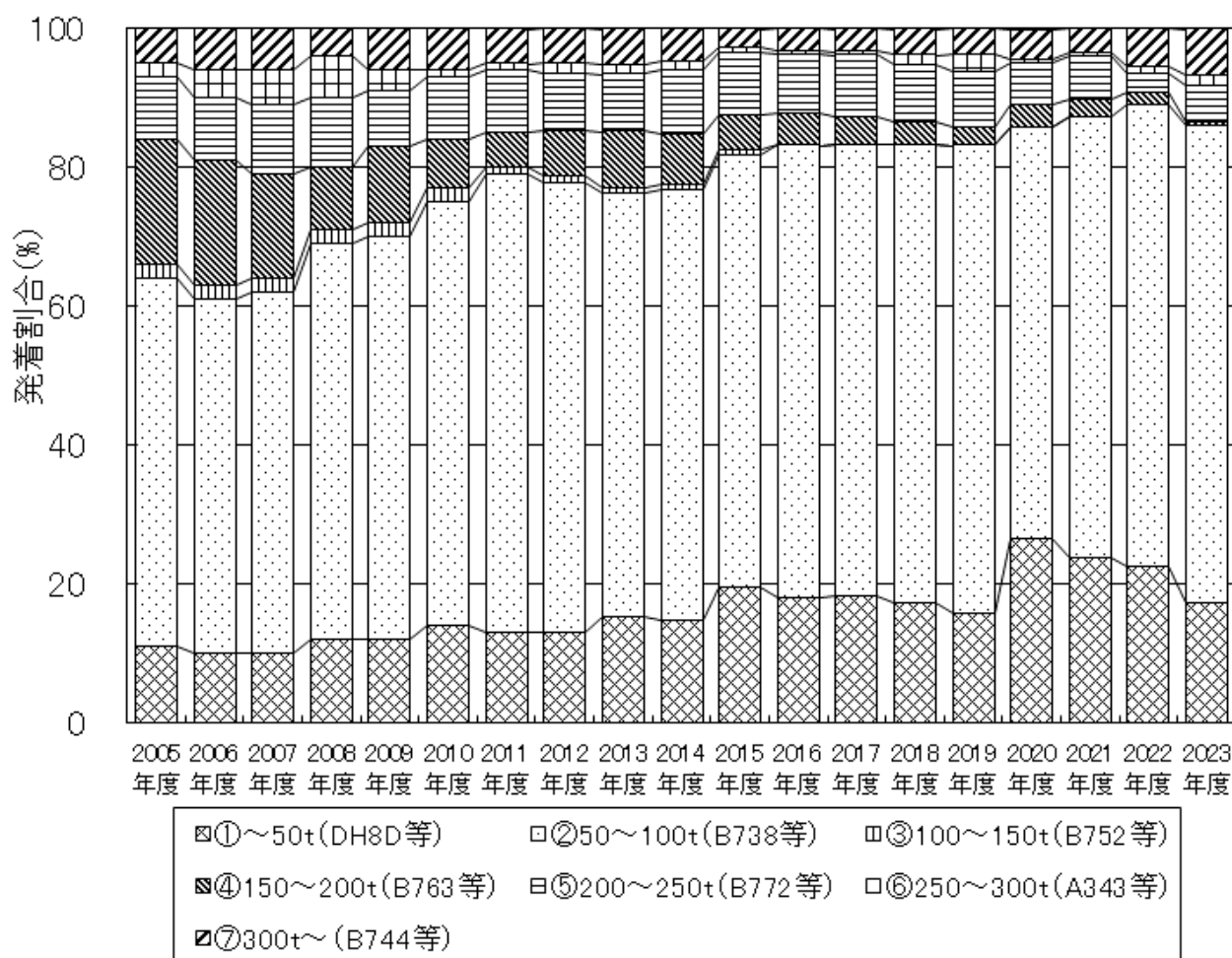


図 2-6 航空機の最大離陸重量別年度別推移

表 2-2 最大離陸重量別の主な航空機材リスト

最大離陸重量	機 材
⑦. 300t～	ボーイング747-400
	ボーイング747-8
	ボーイング747-LCF
	ボーイング777-300/300ER
	エアバスA340-600
	エアバスA350-1000
	エアバスA380-800
アントノフAn-124	
⑥. 250～300t	エアバスA340-300
	エアバスA350-900
	ボーイング777-200ER
⑤. 200～250t	エアバスA330-200
	エアバスA330-300
	ボーイング777-200
④. 150～200t	ボーイング787-8、9、10
	エアバスA300-600/600R
	ボーイング767-300/300ER
③. 100～150t	ボーイング757-200
②. 50～100t	エアバスA319、A320、A321
	エアバスA320neo、A321neo
	エアバスA220
	ボーイング737-400、500
	ボーイング737-700、800、900
	ボーイング737MAX8、MAX9
	①. ～50t
ボンバルディアCRJ-200、700	
サ-ブ2000	
セスナ525C	
アグスタ ウイストランド139	
ベル412	

### 3. 環境監視結果及び評価

#### 航空機騒音

##### (1) 航空機騒音の評価指標

環境省の航空機騒音測定・評価マニュアル（以下「マニュアル」という。）に基づき、2013(平成 25)年度から Lden（時間帯補正等価騒音レベル）（※1）により評価を行った。ただし、開港時からの推移を考慮し、2012 年度までの旧評価指標である WECPNL（※2）を参考として示す。

なお、航空機騒音の評価指標が WECPNL から Lden に変更されたことに対応するために、2011 年度に Lden 及び WECPNL を算出できる航空機騒音監視システムに改修し、2012 年度から運用を開始している。

##### ※1 Lden（時間帯補正等価騒音レベル）

1日の間に観測された航空機騒音の単発騒音暴露レベル(L<sub>AE</sub>)を時間帯別に補正（午後 7 時から午後 10 時まではプラス 5 デシベル、午後 10 時から翌日午前 7 時まではプラス 10 デシベル）した後にエネルギー加算し、観測時間(1 日 = 86,400 秒)で平均してレベル表示した値。単位はデシベル[dB]。

一般の騒音の大きさを表す騒音レベルとは異なる。

##### 算式 1

$$L_{den} = 10 \log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left( \sum_i 10^{\frac{L_{AE,di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,ej+5}}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,nk+10}}{10}} \right) \right\} \quad (\text{注})$$

L<sub>AE,di</sub> : 午前 7 時から午後 7 時までの時間帯における i 番目の L<sub>AE</sub>

L<sub>AE,ej</sub> : 午後 7 時から午後 10 時の時間帯における j 番目の L<sub>AE</sub>

L<sub>AE,nk</sub> : 午後 10 時から午前 7 時の時間帯における k 番目の L<sub>AE</sub>

T<sub>0</sub> : 規準化時間 (1 秒)

T : 観測 1 日の時間 (86,400 秒 = 60 秒 × 60 分 × 24 時間)

##### 関係する用語

ピークレベル : 航空機の騒音が発生するごとに観測される最大騒音レベルのこと。  
単位はデシベル[dB]。

L<sub>AE</sub> : 航空機 1 機が発生する騒音のエネルギー量。単位はデシベル[dB]。  
単発騒音暴露レベルと言う。

L<sub>Aeq</sub> : 時間帯ごとで算出している平均等価騒音レベル。単位はデシベル [dB]。

## ※2 WECPNL

WECPNL とは、加重等価平均感覚騒音レベル (Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level) のことで、1973(昭和 48)年から 2012(平成 24)年度まで航空機騒音の評価指標として採用された。

19 時から 22 時までに発生した騒音の評価には、1 機騒音が発生したら 3 機分の重みを、22 時から翌日 7 時までに発生した騒音の評価には、10 機分の重みを付けている。単位はない。

### 算式 2

$$\text{WECPNL} = \overline{\text{dB(A)}} + 10 \log_{10} N - 27$$

$$N = N_2 + 3N_3 + 10(N_1 + N_4)$$

(注)  $\overline{\text{dB(A)}}$  : 航空機騒音が暗騒音より 10dB 以上大きい騒音のピークレベルを 1 日のすべてについてパワー平均したもの。

$N_1$  : 0 時～7 時までに測定された機数

$N_2$  : 7 時～19 時までに測定された機数

$N_3$  : 19 時～22 時までに測定された機数

$N_4$  : 22 時～24 時までに測定された機数

(「測定された機数」とは、暗騒音より 10dB 以上高い騒音を測定した機数を指す。)

## (2) 環境監視結果

航空機騒音の調査期間及び調査地点は表 3-1 のとおりである。

常時監視は、開港時から常滑市、美浜町、弥富市、木曾岬町の 4 市町において行っている。

また、本年度の定期監視は、夏期は 2023 年 6 月 16 日～22 日に 7 地点で、冬期は 2024 年 2 月 9 日～15 日、2024 年 2 月 20 日～26 日に 3 地点で行った。航空機騒音の調査地点の位置は、図 3-1 のとおりである。

表 3-1 調査期間及び調査地点

項目		調査期間	調査地点
常時監視		2023 年 4 月 01 日 ～ 2024 年 3 月 31 日	4 地点
定期監視 (注 1)	夏期	2023 年 6 月 16 日 ～ 2023 年 6 月 22 日	7 地点
	冬期	2024 年 2 月 9 日 ～ 2024 年 2 月 15 日 2024 年 2 月 20 日 ～ 2024 年 2 月 26 日 (注 2)	3 地点

常時監視局(注 3)	
①	常滑市立鬼崎中学校
②	美浜町野間(ちびっこ広場)
③	弥富市立大藤小学校
④	木曾岬町東部公民館

定期監視地点(注 3)		調査時期
T1	常滑市立常滑西小学校	夏期・冬期
T2	南知多町町民会館	冬期
A1	愛西市役所	夏期
A2	弥富市立十四山西部小学校	夏期
A3	弥富市鍋田公民館	夏期
M1	桑名市大山田地区市民センター	夏期
M2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設	夏期
M3	四日市市海蔵地区市民センター	夏期
M4	伊勢市神社みなとまち館	冬期

注 1：定期監視は各調査地点について 7 日間連続で測定を実施。

注 2：M4 伊勢市神社みなとまち館は施設工事のため別日で調査。

注 3：①～④及び T1～M4 は次ページの図 3-1 の地点番号に対応。

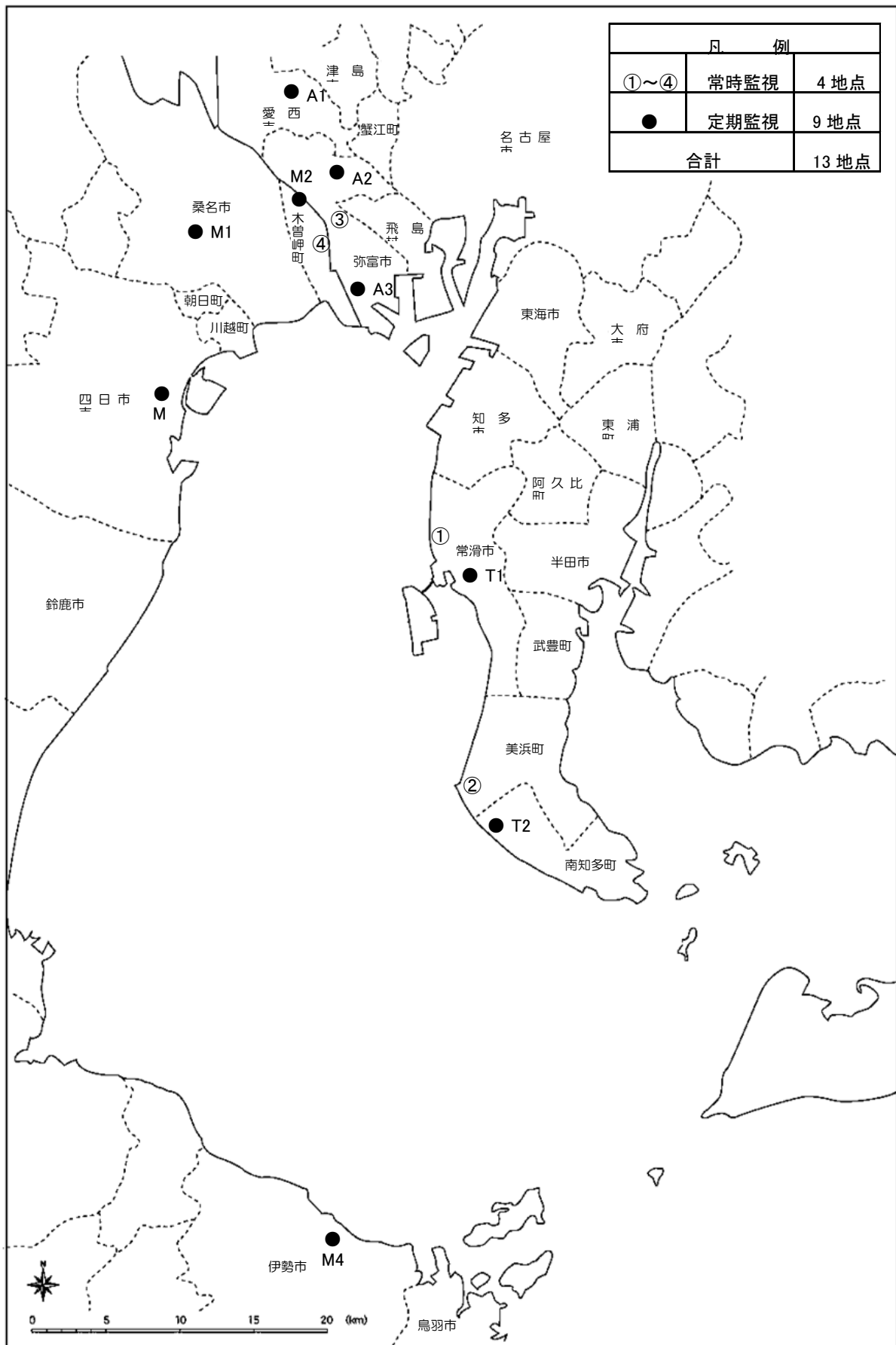


図 3-1 航空機騒音の調査地点（常時監視及び定期監視）

## ア 常時監視結果

常滑市立鬼崎中学校、美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校及び木曾岬町東部公民館における航空機騒音調査結果は、表 3-2(1)～(4)のとおりである。

年間の Lden は、常滑市立鬼崎中学校では 42dB、美浜町野間（ちびっこ広場）では 43dB、弥富市立大藤小学校では 43dB、木曾岬町東部公民館では 43dB であった。

各調査地点における月別の Lden 及び測定された機数は図 3-2 のとおりである。なお、「測定された機数」とは、暗騒音より 10dB 以上高い騒音を測定した機数であり、実際に飛行した航空機数とは異なる。（環境省の航空機騒音測定・評価マニュアル）

月間の Lden は、常滑市立鬼崎中学校では年間を通して 40dB～44dB、美浜町野間（ちびっこ広場）では年間を通して 40dB～45B であった。これらに対し、弥富市立大藤小学校では 4月～10月及び3月が 39dB～46dB、11月～2月は 30dB～40dB、木曾岬町東部公民館では 4月～10月及び3月が 40dB～47dB、11月～2月は 31dB～41dB であった。

月別の測定された機数は、常滑市立鬼崎中学校では 1,100～2,900 機台で、中でも 12月が 2,967 機と最も多く、8月が 1,170 機と最も少なかった。

美浜町野間（ちびっこ広場）では 330～2,800 機台で、中でも 1月が 2,814 機と最も多く、8月が 337 機と最も少なかった。

弥富市立大藤小学校では 4月～9月は 940～2,190 機台で、中でも 8月が 2,195 機と最も多かった。10月～3月は 150～470 機台で、中でも 1月が 154 機と最も少なかった。

木曾岬町東部公民館では 4月～9月は 1,000～2,100 機台で、中でも 8月が 2,145 機と最も多かった。10月～3月は 220～560 機台で、中でも 1月が 227 機と最も少なかった。

年間機数は、常滑市立鬼崎中学校で最も多く、次いで美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館の順で、常滑市立鬼崎中学校が 24,000 機程度であり、美浜町野間（ちびっこ広場）は 19,000 機程度、弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館はともに 12,000 機程度であった。

なお、各調査地点の測定機数は、基本的に航空機が風上に向かって離着陸する滑走路運用方式をとることから、空港島周辺の風向きに大きな影響を受ける。また、空港近傍では離陸便、着陸便の両方が測定されるが、空港から離れた地域では離陸便の高度が着陸便に対して高くなることから、着陸便が多く測定される。

こうしたことから、北風が吹く冬場は空港島の近くにある常滑市立鬼崎中学校では滑走路が“北向き運用”の離陸便が多く測定され、南側にある美浜町野間（ちびっこ広場）では、“北向き運用”の着陸便が多く測定される。

一方、南風が吹く夏場は、空港島の北側にある弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では滑走路が“南向き運用”の着陸便が多く測定される。従って、月間の Lden

は、常滑市立鬼崎中学校と、美浜町野間(ちびっこ広場)では冬場に高く、弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では夏場が高い傾向にあるものと考えられる。

各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数は、図 3-3 のとおりである。また、最大離陸重量別の主な航空機材リストは表 3-3 のとおりである。

最大離陸重量別に各調査地点において測定された機数は、4 地点とも 50～100t (ボーイング 737、エアバス 320 等) の機材が最も多く、次いで常滑市立鬼崎中学校と美浜町野間(ちびっこ広場)では、200～250t (エアバス 330、ボーイング 787 等) の機材が多く、弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では 50t 以下(ボンバルディア DHC-8、CRJ 等)の機材が多かった。

年間のピークレベルの度数分布は、表 3-4 のとおりである。

常滑市立鬼崎中学校では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 55～60dB (測定された機数の年間合計に占める割合 48.1%) であり、70dB 以上の機数の割合は 0.3%であった。

美浜町野間 (ちびっこ広場) では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 55～60dB (同 59.1%) であり、70dB 以上の機数の割合は 0.6%であった。

弥富市立大藤小学校では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB (同 59.5%) であり、70dB 以上の機数の割合は 0.6%であった。

木曾岬町東部公民館では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB (同 63.8%) であり、70dB 以上の機数の割合は 0.6%であった。

表 3-2(1) 航空機騒音調査結果 (①常滑市立鬼崎中学校)

年月	測定 日数 (日)	$L_{den}$ (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 $L_{Aeq}$ (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ピークレベルの パワー 平均値 (dB)
2023年 4月	30	43	229	1,268	291	132	1,920	64	39	38	35	55	59
5月	31	42	259	1,177	323	141	1,900	61	39	37	35	54	59
6月	30	42	193	1,128	263	155	1,739	58	39	35	34	54	58
7月	31	41	253	532	335	179	1,299	42	36	37	34	54	58
8月	31	40	211	596	218	145	1,170	38	36	35	32	53	58
9月	30	41	197	964	220	121	1,502	50	38	35	34	54	59
10月	31	43	166	1,717	241	80	2,204	71	41	37	35	55	59
11月	30	44	174	1,977	267	74	2,492	83	42	38	35	56	60
12月	31	43	183	2,401	319	64	2,967	96	43	38	34	56	60
2024年 1月	31	43	154	2,236	278	64	2,732	88	42	38	34	55	60
2月	29	43	109	1,943	265	52	2,369	82	42	39	33	55	60
3月	31	43	184	2,079	271	80	2,614	84	42	38	34	56	60
年間値	366	42	2,312	18,018	3,291	1,287	24,908	68	40	37	34	55	60

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-2(2) 航空機騒音調査結果 (②美浜町野間 (ちびっこ広場))

年月	測定 日数 (日)	$L_{den}$ (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 $L_{Aeq}$ (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ピークレベルの パワー 平均値 (dB)
2023年 4月	30	43	145	825	302	99	1,371	46	38	39	35	53	59
5月	31	42	147	686	239	84	1,156	37	37	37	35	53	59
6月	30	43	145	733	213	74	1,165	39	37	37	36	53	59
7月	31	42	103	325	245	86	759	24	35	37	35	53	59
8月	31	42	116	142	50	29	337	11	35	35	35	54	64
9月	30	40	89	698	23	15	825	28	37	31	33	51	60
10月	31	43	152	1,332	463	161	2,108	68	40	40	35	54	59
11月	30	43	155	1,196	480	106	1,937	65	40	41	35	55	59
12月	31	44	192	1,603	564	159	2,518	81	41	41	35	56	59
2024年 1月	31	44	182	1,883	569	180	2,814	91	41	42	36	56	59
2月	29	44	132	1,650	504	164	2,450	84	41	42	36	55	59
3月	31	45	172	1,559	467	148	2,346	76	42	41	36	56	60
年間値	366	43	1,730	12,632	4,119	1,305	19,786	54	39	39	35	54	59

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-2 (3) 航空機騒音調査結果 (③弥富市立大藤小学校)

年 月	測定 日数 (日)	$L_{den}$ (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 $L_{Aeq}$ (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ビークレ ルのパ ワー 平均値 (dB)
2023年 4月	30	44	12	674	231	25	942	31	42	44	32	55	64
5月	31	45	15	1,034	358	32	1,439	46	43	46	32	56	63
6月	30	45	7	976	380	31	1,394	46	42	46	32	55	63
7月	31	45	15	1,312	426	45	1,798	58	43	45	33	56	62
8月	31	46	14	1,516	607	58	2,195	71	44	47	33	57	63
9月	30	45	4	1,269	396	44	1,713	57	44	45	32	56	63
10月	31	39	0	328	97	13	438	14	37	40	28	50	63
11月	30	40	1	349	108	21	479	16	38	40	30	52	64
12月	31	35	1	209	28	7	245	8	34	35	24	46	61
2024年 1月	31	30	2	146	6	0	154	5	32	16	16	40	59
2月	29	38	2	227	39	10	278	10	36	37	28	49	63
3月	31	40	2	302	80	23	407	13	37	40	30	51	63
年間値	366	43	75	8,342	2,756	309	11,482	31	41	43	31	54	63

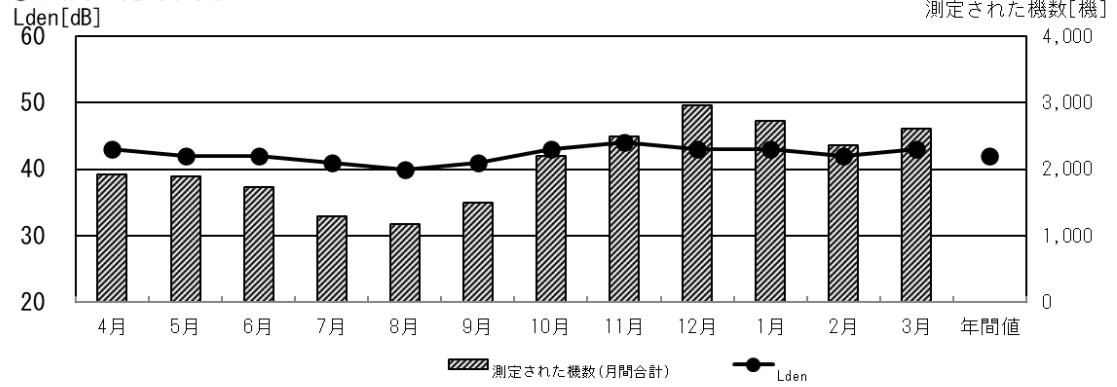
注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-2 (4) 航空機騒音調査結果 (④木曾岬町東部公民館)

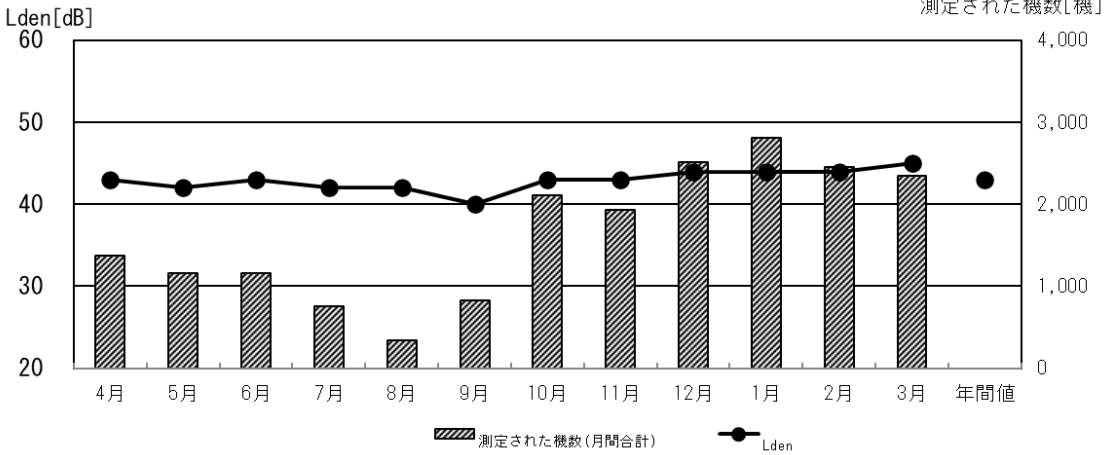
年 月	測定 日数 (日)	$L_{den}$ (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 $L_{Aeq}$ (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ビークレ ルのパ ワー 平均値 (dB)
2022年 4月	30	45	11	742	269	28	1,050	35	42	45	33	55	63
5月	31	46	20	1,062	393	36	1,511	49	44	46	33	56	63
6月	30	45	7	958	385	33	1,383	46	43	46	32	55	63
7月	31	45	7	1,243	432	45	1,727	56	44	46	33	56	63
8月	31	47	16	1,468	603	58	2,145	69	45	48	34	57	63
9月	30	45	4	1,294	393	42	1,733	58	44	46	33	56	63
10月	31	40	0	423	92	12	527	17	38	40	28	50	62
11月	30	41	2	422	114	22	560	19	39	42	31	51	63
12月	31	36	0	305	28	6	339	11	36	35	23	46	61
2023年 1月	31	31	2	221	4	0	227	7	34	20	14	42	60
2月	29	38	2	291	32	10	335	12	37	37	28	49	62
3月	31	41	2	394	79	21	496	16	39	40	30	51	63
年間値	366	43	73	8,823	2,824	313	12,033	33	42	44	31	54	63

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

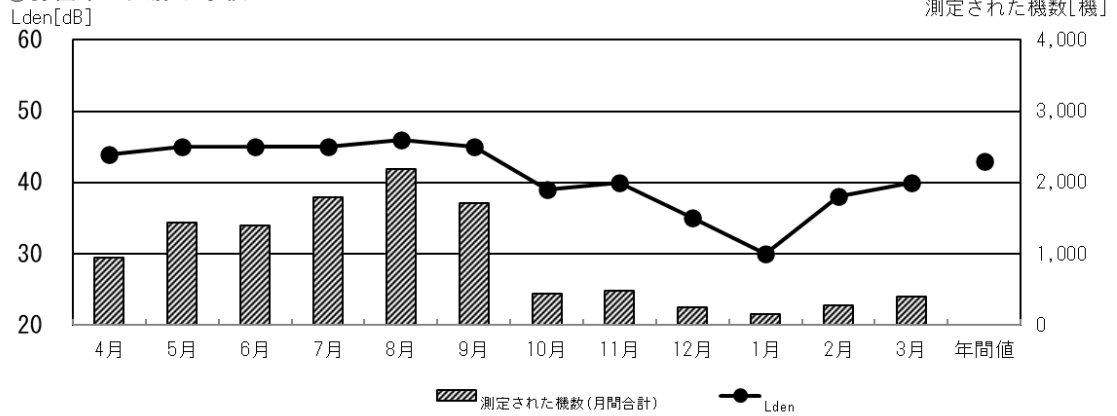
①常滑市立鬼崎中学校



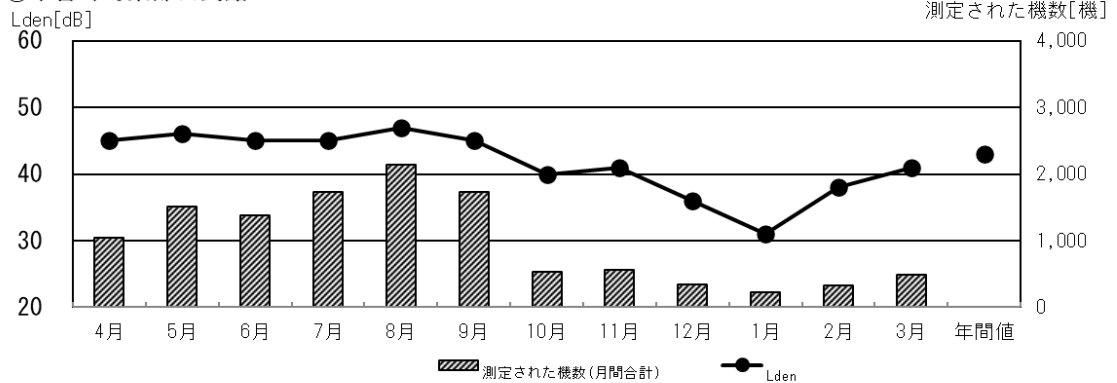
②美浜町野間(ちびっこ広場)

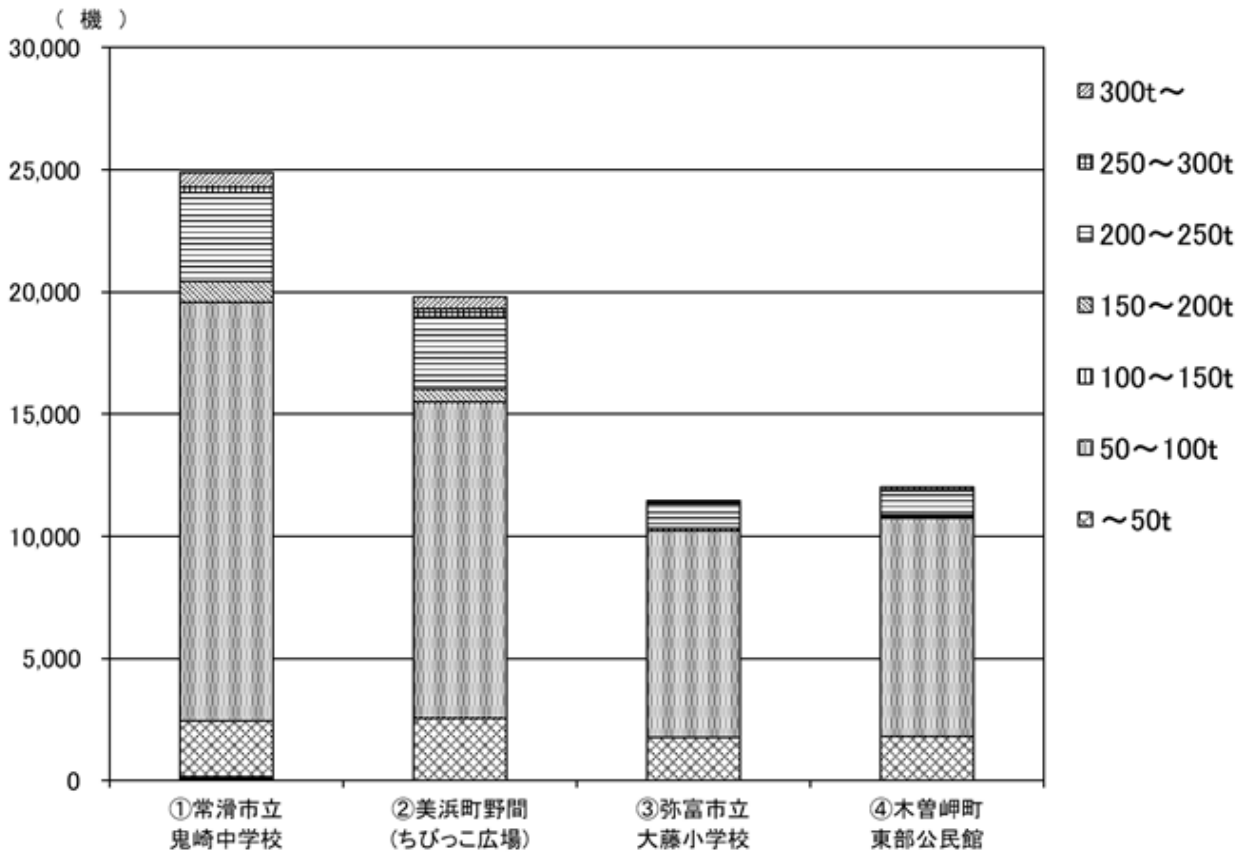


③弥富市立大藤小学校



④木曾岬町東部公民館





注1：調査期間は2023年4月1日～2024年3月31日

図3-3 各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数

最大離陸重量	機材
300t~	ボーイング747-200
	ボーイング747-400
	ボーイング747-8
	ボーイング747-LCF
	ボーイング777-300/300ER
	エアバスA380-800
	アントノフ
250~300t	エアバスA340-300
	ボーイング747-400D
200~250t	エアバスA330-200
	エアバスA330-300
	ボーイング777-200/200ER
	ボーイング787-800
150~200t	ボーイング787-900
	エアバスA300-600/600R
100~150t	ボーイング767-300/300ER
	ボーイング757-200
50~100t	エアバスA319-100
	エアバスA320-200
	エアバスA321-200
	ボーイング737-400
	ボーイング737-500
	ボーイング737-700
	ボーイング737-800
ボーイング737-900	
~50t	ボンバルディアDHC-8
	ボンバルディアCRJ
	サブ2000
	セスナ525C
	アグスタ ウェストランド139
	ベル412

表3-3 最大離陸重量別の主な航空機材リスト

表 3-4 ピークレベルの度数分布（常時監視）

①常滑市立鬼崎中学校

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
2023年4月	591	877	385	65	2	1,920
5月	649	907	289	53	2	1,900
6月	706	760	217	50	6	1,739
7月	577	507	179	31	5	1,299
8月	529	463	143	30	5	1,170
9月	571	720	174	30	7	1,502
10月	544	1,158	423	69	10	2,204
11月	419	1,254	687	122	10	2,492
12月	542	1,439	881	94	11	2,967
2024年1月	436	1,358	844	90	4	2,732
2月	328	1,243	710	84	4	2,369
3月	476	1,298	724	105	11	2,614
合計	6,368	11,984	5,656	823	77	24,908
割合(%)	25.6	48.1	22.7	3.3	0.3	100.0

②美浜町野間（ちびっこ広場）

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
2023年4月	356	764	213	36	2	1,371
5月	328	649	138	35	6	1,156
6月	441	562	124	32	6	1,165
7月	269	362	96	25	7	759
8月	63	125	99	40	10	337
9月	333	357	93	32	10	825
10月	526	1,304	239	28	11	2,108
11月	344	1,173	362	50	8	1,937
12月	451	1,626	377	44	20	2,518
2024年1月	460	1,811	488	47	8	2,814
2月	366	1,536	513	28	7	2,450
3月	321	1,426	523	59	17	2,346
合計	4,258	11,695	3,265	456	112	19,786
割合(%)	21.5	59.1	16.5	2.3	0.6	100.0

③弥富市立大藤小学校

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
2023年4月	32	145	590	168	7	942
5月	46	234	918	229	12	1,439
6月	66	321	778	214	15	1,394
7月	74	469	1,071	180	4	1,798
8月	50	448	1,415	273	9	2,195
9月	60	368	1,096	181	8	1,713
10月	50	128	209	46	5	438
11月	36	117	252	70	4	479
12月	52	90	84	18	1	245
2024年1月	54	45	51	4	0	154
2月	35	69	146	25	3	278
3月	29	89	221	65	3	407
合計	584	2,523	6,831	1,473	71	11,482
割合(%)	5.1	22.0	59.5	12.8	0.6	100.0

④木曾岬町東部公民館

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
2023年4月	54	150	655	184	7	1,050
5月	56	139	127	16	1	1,511
6月	55	91	77	4	0	1,383
7月	48	104	253	87	4	1,727
8月	42	150	273	61	1	2,145
9月	39	97	168	28	3	1,733
10月	38	261	904	170	10	527
11月	38	372	1,152	155	10	560
12月	38	318	1,200	166	11	339
2024年1月	34	151	294	77	4	227
2月	32	202	1,037	229	11	335
3月	20	309	1,539	267	10	496
合計	494	2,344	7,679	1,444	72	12,033
割合(%)	4.1	19.5	63.8	12.0	0.6	100.0

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

## イ 定期監視結果

2023年度の定期監視は、夏期を2023年6月16日～22日に、冬期を2024年2月9日～15日及び2024年2月20日～26日に実施し、調査結果は、表3-5(1)、表3-5(2)のとおりである。

夏期の定期監視のLdenは35dB～46Bの範囲であり、冬期の定期監視のLdenは35dB～43dBの範囲であった。

夏期の定期監視のピークレベルの度数分布は表3-6(1)のとおりである。70dB以上のピークレベルが測定されたのは、弥富市(A3)、木曾岬町(M2)であった。

冬期の定期監視のピークレベルの度数分布は表3-6(2)のとおりである。70dB以上のピークレベルが測定されたのは、南知多町(T2)、伊勢市(M4)であった。

また、各調査地点の測定機数は、常時監視結果と同様、空港島周辺の風向きが運用方向に影響するため、空港島に近い常滑市立常滑西小学校(T1)は、冬場の北風が吹くときに多くなっている。

空港島の南側にある南知多町町民会館(T2)、三重県伊勢市神社みなとまち館(M4)は、到着機の通過が多くなる冬場に調査を実施している。

一方で、空港島の北側にある愛知県海部地区の愛西市役所(A1)、弥富市十四山西部小学校(A2)、弥富市鍋田公民館(A3)、三重県の桑名市大山田地区市民センター(M1)、木曾岬町農村集落多目的共同利用施設(M2)、四日市市海蔵地区市民センター(M3)は、到着機の通過が多くなる夏場に調査を実施している。

表 3-5(1) 航空機騒音調査結果（定期監視：夏期）

調査期間：2023年06月16日（金）～ 06月22日（木）

調査地点				測定 日数 (日)	L <sub>den</sub> (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別L <sub>Aeq</sub> (dB)			(参考)	
地区	番号	市町村名	施設名称			0:00 ～ 7:00	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 24:00	計	日平均	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00	WECPNL	ヒールベ ルのパー 平均値 (dB)
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	7	36	24	99	16	19	158	23	30	29	29	49	56
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所	7	37	1	83	70	3	157	22	34	40	17	48	59
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	7	41	0	147	68	5	220	31	39	43	27	51	61
	A 3	弥富市	鍋田公民館	7	46	3	230	120	10	363	52	44	47	35	57	64
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター(注2)	7	35	2	52	21	1	76	11	33	34	22	47	61
	M 2	木曽岬町	農村集落多目的共同利用施設	7	40	1	191	92	8	292	42	38	41	28	51	59
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	7	36	3	52	11	4	70	10	35	32	27	46	60

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10 dB以上高くなった航空機の機数である。  
 注2：大山田地区市民センターは設置作業が困難なため、陵成中学校で実施した。

表 3-5(2) 航空機騒音調査結果（定期監視：冬期）

調査期間：【常滑市・南知多町】2024年02月09日（金）～ 02月15日（水）  
 【伊勢市】2024年02月20日（火）～ 02月26日（月）(注2)

調査地点				測定 日数 (日)	L <sub>den</sub> (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別L <sub>Aeq</sub> (dB)			(参考)	
地区	番号	市町村名	施設名称			0:00 ～ 7:00	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 24:00	計	日平均	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00	WECPNL	ヒールベ ルのパー 平均値 (dB)
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	7	41	27	333	77	15	452	65	38	40	32	53	58
	T 2	南知多町	町民会館	7	35	15	79	67	19	180	26	33	34	26	50	57
三重県	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	7	43	26	135	34	23	218	31	43	37	33	58	64

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10 dB以上高くなった航空機の機数である。  
 注2：伊勢市での観測について施設工事のため別日で調査

表 3-6(1) 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視：夏期）

調査期間：2023年06月16日（金）～ 06月22日（木）

調 査 地 点				測定された機数（機）（注1）					
地区	番号	市町村名	施設名称	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	85	60	13	0	0	158
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所	58	62	33	4	0	157
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	12	85	121	2	0	220
	A 3	弥富市	鍋田公民館	4	24	262	71	2	363
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター（注2）	13	30	28	5	0	76
	M 2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	79	153	51	7	2	292
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	7	32	31	0	0	70

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：大山田地区市民センターは設置作業が困難なため、陵成中学校で実施した。

表 3-6(2) 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視：冬期）

調査期間：【常滑市・南知多町】2024年02月09日（金）～ 02月15日（水）  
【伊勢市】2024年02月20日（火）～ 02月26日（月）（注2）

調 査 地 点				測定された機数（機）（注1）					
地区	番号	市町村名	施設名称	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	144	234	64	10	0	452
	T 2	南知多町	町民会館	126	38	11	4	1	180
三重県	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	42	91	61	15	9	218

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：伊勢市神社みなとまち館は施設工事のため別日で調査。

### (3) 航空機騒音の項目別比較検討

評価を行うにあたり、次の①と②について比較・検討した。

#### ① 環境基準値との比較

環境監視結果について、環境基準値（I 類型の基準値 Lden 57dB（表 3-7））と比較した。

#### ② 推移

5年間の推移から変動傾向を把握した。

### ア 環境基準値との比較

#### (ア) 常時監視結果

2023 年度の常時監視 4 地点における航空機騒音調査結果は、表 3-8 のとおりである。

Lden は、常滑市立鬼崎中学校では 42dB、美浜町野間（ちびっこ広場）では 43dB、弥富市立大藤小学校では 43dB、木曾岬町東部公民館では 43dB であった。

環境基準値と比較した結果、4 地点全てにおいて航空機騒音の環境基準（I 類型の基準値 Lden 57dB、以下同じ）を満たしていた。

なお、月別の Lden は、空港島の北側にある調査地点では春から夏が高くなり、空港島の周辺や南側にある調査地点では秋から冬が高い値となった（P16 図 3-2 参照）。これは、春から夏は南向き運用比率が高く、秋から冬は北向き運用比率が高いためである。

#### (イ) 定期監視結果

2023 年度の夏期定期監視 7 地点、冬期定期監視 3 地点における航空機騒音調査結果は、表 3-9 のとおりである。

Lden は 35dB～46dB の範囲にあり、環境基準値と比較した結果、全ての調査において航空機騒音の環境基準を満たしていた。

図 2-4 に示したとおり運用比率は、2023 年 6 月に実施した定期監視（夏期）は南向き運用の比率が高く、空港島の北側にある愛知県の愛西市（A1）、弥富市（A2、A3）や三重県の桑名市（M1）、木曾岬町（M2）、四日市市（M3）は、南向き運用の着陸便の影響を受けた値となっている。2024 年 2 月に実施した定期監視（冬期）は、北向き運用の比率が高く、愛知県の南知多町（T2）、三重県の伊勢市（M4）は、北向き運用の着陸便の影響を受けた値となり、同様に常滑市（T1）は、北向き運用の離陸便の影響を受けた値となっている。

なお、参考までに、愛知県及び三重県が実施した中部国際空港に係る航空機騒音の調査結果を表 3-10 及び表 3-11 に示す。

表 3-7 航空機騒音に係る環境基準

< 中部国際空港の航空機騒音に係る環境基準 >

該当地域		地域の 類型	基準値	施行
愛 知 県	常滑市、弥富市、海部郡飛島村並びに知多郡南知多町及び美浜町の区域。ただし、空港島の区域、河川区域及び工業専用地域を除く。	I	Lden 57dB 以下	平成 18(2006)年 4月 1日
三 重 県	桑名市の長島町、鳥羽市の答志島及び木曾岬町の区域。ただし、河川区域を除く。	I		平成 19(2007)年 4月 1日

(昭和48.12.27 環境庁告示第154号)

改正 平5環告91

改正 平12環告78

改正 平成19年環告114

環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第1項の規定に基づく騒音に係る環境上の条件につき、生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで維持することが望ましい航空機騒音に係る基準（以下「環境基準」という。）及びその達成期間は、次のとおりとする。

## 第1 環境基準

1 環境基準は、地域の類型ごとに次表の基準値の欄に掲げるとおりとし、各類型をあてはめる地域は、都道府県知事が指定する。

地域の類型	基準値
I	57デシベル以下
II	62デシベル以下

(注) I をあてはめる地域は専ら住居の用に供される地域とし、II をあてはめる地域は I 以外の地域であつて通常の生活を保全する必要がある地域とする。

(出典：環境省HP)

表 3-8 航空機騒音調査結果（常時監視）

調査期間：2023年4月1日～2024年3月31日

調査地点	環境基準		$L_{den}$ (dB)	測定された機数 (機) (注1)		時間帯別 $L_{Aeq}$ (dB)			測定 日数 (日)	(参考)	
	地域 の 類型	環境 基準値 $L_{den}$ (dB)		年間	日平均	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00		WECPNL	ピーク レベルの パワー平 均値 (dB)
①常滑市立 鬼崎中学校	I	57以下	42	24,908	68	40	37	34	366	55	60
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	I	57以下	43	19,786	54	39	39	35	366	54	59
③弥富市立 大藤小学校	I	57以下	43	11,482	31	41	43	31	366	54	63
④木曾岬町 東部公民館	I	57以下	43	12,033	33	42	44	31	366	54	63

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-9 航空機騒音調査結果（定期監視）

調 査 地 点				環境基準		調査期間 (注2)	測定 日数 (日)	調 査 結 果			
地区	番号	市町村名	施 設 名 称	地域 の 類型 (注1)	環 境 基準値 (dB)			$L_{den}$ (dB)	測定され た機数 (機) (注3)	測定され た機数の 1日平均 (機)	(参考) WECPNL
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	I	$L_{den}$ 57以下	調査期間 1	7	36	158	23	49
						調査期間 2	7	41	452	65	53
	T 2	南知多町	町民会館	I	$L_{den}$ 57以下	調査期間 2	7	35	180	26	50
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所	—	—	調査期間 1	7	37	157	22	48
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	I	$L_{den}$ 57以下	調査期間 1	7	41	220	31	51
	A 3	弥富市	鍋田公民館	I	$L_{den}$ 57以下	調査期間 1	7	46	363	52	57
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター(注4)	—	—	調査期間 1	7	35	76	11	47
	M 2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	I	$L_{den}$ 57以下	調査期間 1	7	40	292	42	51
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	—	—	調査期間 1	7	36	70	10	46
	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	—	—	調査期間 3	7	43	218	31	58

注1：「—」は、類型指定されていないことを示す。

注2：調査期間1：2023年06月16日(金)～06月22日(木)

注2：調査期間2：2024年02月09日(金)～02月15日(木)

注2：調査期間3：2024年02月20日(火)～02月26日(月)

注3：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注4：大山田地区市民センターでの設置作業が困難なため、陵成中学校にて実施した。

表 3-10 中部国際空港に係る愛知県の航空機騒音の調査結果

(単位：dB)

No.	調査地点	調査実施期間	調査結果	環境基準	調査機関
1	海部郡飛島村大字服岡八丁目	7/5 ~ 7/11	31	57	愛知県
		1/10 ~ 1/16			
2	弥富市鍋田町稲山	6/24 ~ 6/30	42	57	愛知県
		1/18 ~ 1/24			
3	常滑市樽水町二丁目	6/16 ~ 6/22	40	57	愛知県
		1/26 ~ 2/1			
4	知多郡美浜町大字上野間字泉乙	5/31 ~ 6/6	35	57	愛知県
		2/4 ~ 2/10			
5	知多郡南知多町大字豊浜字須佐ヶ丘	6/8 ~ 6/14	31	57	愛知県
		2/14 ~ 2/20			
6	愛西市稲葉町米野	7/13 ~ 7/19	36	—	愛知県
7	知多市南粕谷本町三丁目	2/22 ~ 2/28	29	—	愛知県

(注) No. 1 は施設の電源不具合のため、2019年度冬季から測定地点を変更した。

(注) No. 6, 7 は環境基準の地域類型を指定した地域外の調査地点である。

注1：- は類型指定されていないことを示す。

注2：2024年9月末時点で公表されている調査結果を掲載。

出典：愛知県ホームページ「2023年度交通騒音・振動調査結果について」から抜粋。

表 3-11 中部国際空港に係る三重県の航空機騒音の調査結果

調査地点 つばき公園  
 調査期間 令和6年1月30日(火)～2月5日(月)

調査日	評価値 L <sub>den</sub> [dB]	参考値						
		航空機騒音の L <sub>Aeq</sub> [dB]			騒音発生回数			
		L <sub>Aeq,d</sub>	L <sub>Aeq,e</sub>	L <sub>Aeq,n</sub>	昼間	夕方	夜間	計
1月30日(火)	23.7	26.7	-	-	1	0	0	1
1月31日(水)	23.2	26.2	-	-	3	0	0	3
2月1日(木)	31.4	23.7	35.1	-	1	2	0	3
2月2日(金)	29.4	32.4	-	-	4	0	0	4
2月3日(土)	28.0	31.1	-	-	6	0	0	6
2月4日(日)	-	-	-	-	0	0	0	0
2月5日(月)	36.5	-	-	30.7	0	0	3	3
測定期間全体	<b>30.5</b>	27.7	26.6	22.3	2	0	0	3

令和5年度 航空機騒音 地点別調査結果一覧表

地点 番号	測定場所	用途地域	地 域 類 型	評価値 L <sub>den</sub> [dB]	測定期間
1	つばき公園 (鳥羽市答志町 985 付近)	無指定地域 (都市計画区域外)	I	<b>30</b>	短期測定 1/30 ~ 2/5

出典：三重県環境生活部大気・水環境課ウェブサイトから抜粋。

## イ 推移

### (ア) 常時監視結果

中部国際空港の航空機騒音の変動傾向を把握するため、5年間の常時監視調査結果の推移をとりまとめた。常時監視結果の推移は、表 3-12 及び図 3-4 のとおりである。

表 3-12 5年間の Lden と測定された機数の推移（常時監視）

測定地点	常時監視局結果の年間の推移				
	上段:Lden値(dB) 下段:測定された機数の日平均(機)(注1)				
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
①常滑市 鬼崎中学校	43(注2)(注3)	41	41	42	42
	81(注2)(注3)	34	41	55	68
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	44	41	42	42	43
	68	26	30	44	54
③弥富市 大藤小学校	45	39	41	42	43
	53	16	19	26	31
④木曾岬町 東部公民館	45	39	41	42(注4)	43
	53	16	19	26(注4)	33

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2:2019年5月30日～2019年5月29日までは、測定機器の再設置工事のため欠測。

注3:2019年5月30日～2019年5月29日までは、測定機器の再設置工事のため欠測。

注4:2022年6月30日は、測定機器の不具合のため欠測。

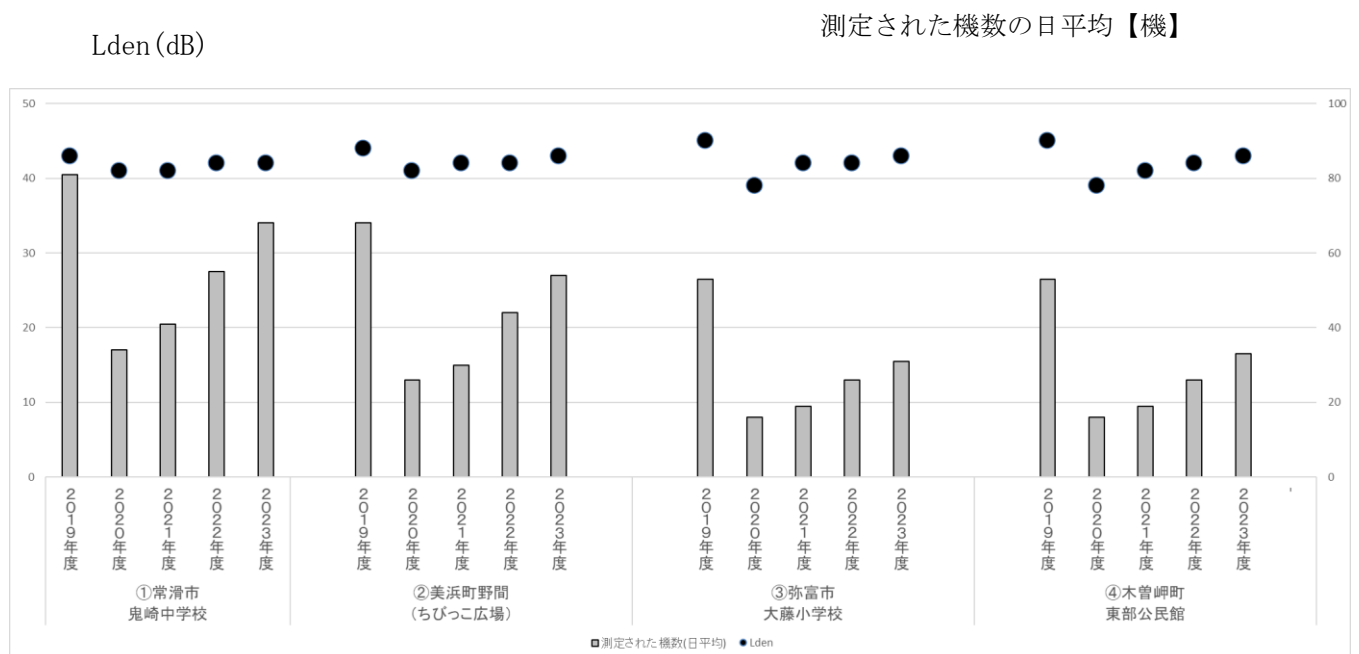


図 3-4 5年間の Lden と測定された機数の推移（常時監視）

4局とも2023年度は前年度と比較して、測定された機数は増加しており、Ldenについても同程度か上昇した。

(イ)定期監視結果

定期監視結果の変動傾向を把握するため、5年間の調査結果の推移をとりまとめた。夏期監視結果の推移は、表 3-13(1)及び図 3-5(1)、冬期監視結果は、表 3-13(2)、図 3-5(2)のとおりである。

なお、2020年度と2021年度は新型コロナウイルスの影響で大幅に便数が減少したため、定期調査は中止したが、2022年度より再開している。

表 3-13(1) 5年間のLden及び測定された機数の推移(定期監視:夏期)

調査地点				定期監視結果(夏期)の推移				
地区	番号	市町村名	施設名称	上段:Lden値(dB) 下段:測定された機数の日平均(機)(注1)				
				2017年度	2018年度	2019年度	2022年度	2023年度
愛知県	T1	常滑市	常滑西小学校	40	40	39	37	36
				63	45	52	23	23
	A1	愛西市	愛西市役所	39	36	41	31	37
				30	21	46	11	22
	A2	弥富市	十四山西部小学校	44	42	45	40	41
				58	56	83	25	31
A3	弥富市	鍋田公民館	47	45	48	44	46	
			63	58	94	39	52	
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター (注2)	38	38	37	33	35
				19	16	20	9	11
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	43	40	43	39	40
				61	44	83	33	42
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	38	37	39	31	36
				20	16	17	7	10

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2:2016年度から陵成中学校で測定を実施。

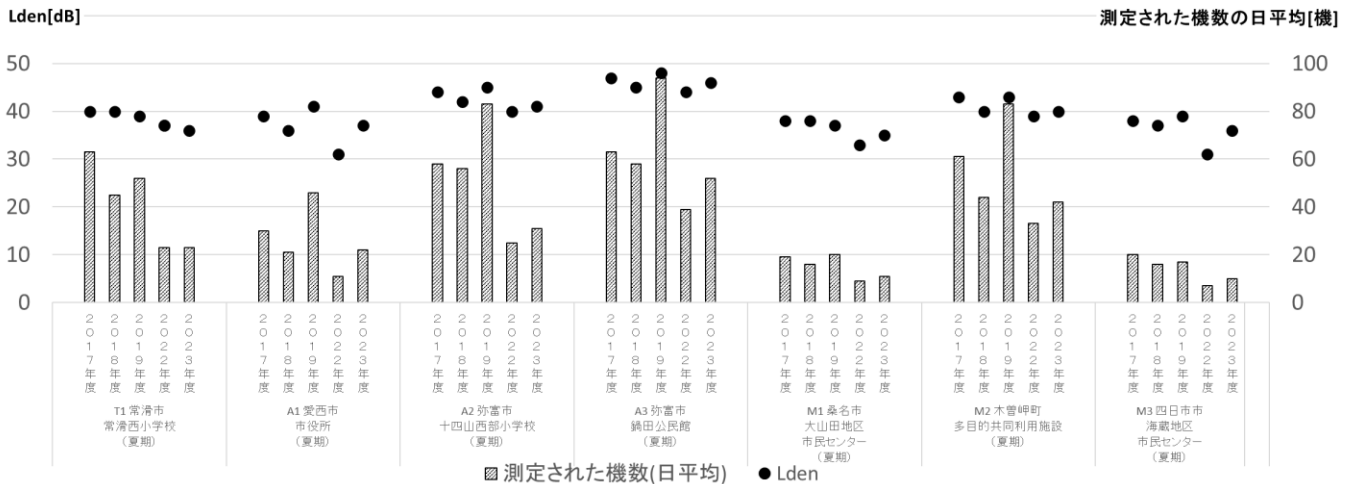


図 3-5(1) 5年間のLdenと測定された機数の推移(T1,A1,A2,A3,M1,M2,M3)

調査地点				定期監視結果(冬期)の推移				
地区	番号	市町村名	施設名称	上段:Lden値(dB) 中段:測定された機数の日平均(機)(注1)				
				2017年度	2018年度	2019年度	2022年度	2023年度
愛知県 知多	T1	常滑市	常滑西小学校	40	42	40	40	41
				69	85	62	53	65
	T2	南知多町	町民会館体育館	38	38	40	38	35
				39	43	34	38	26
三重県	M4	伊勢市	神社みなとまち館	40	41	39	40	43
				34	40	29	24	31

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-13(2) 5年間のLden、測定された機数の推移(定期監視:冬期)

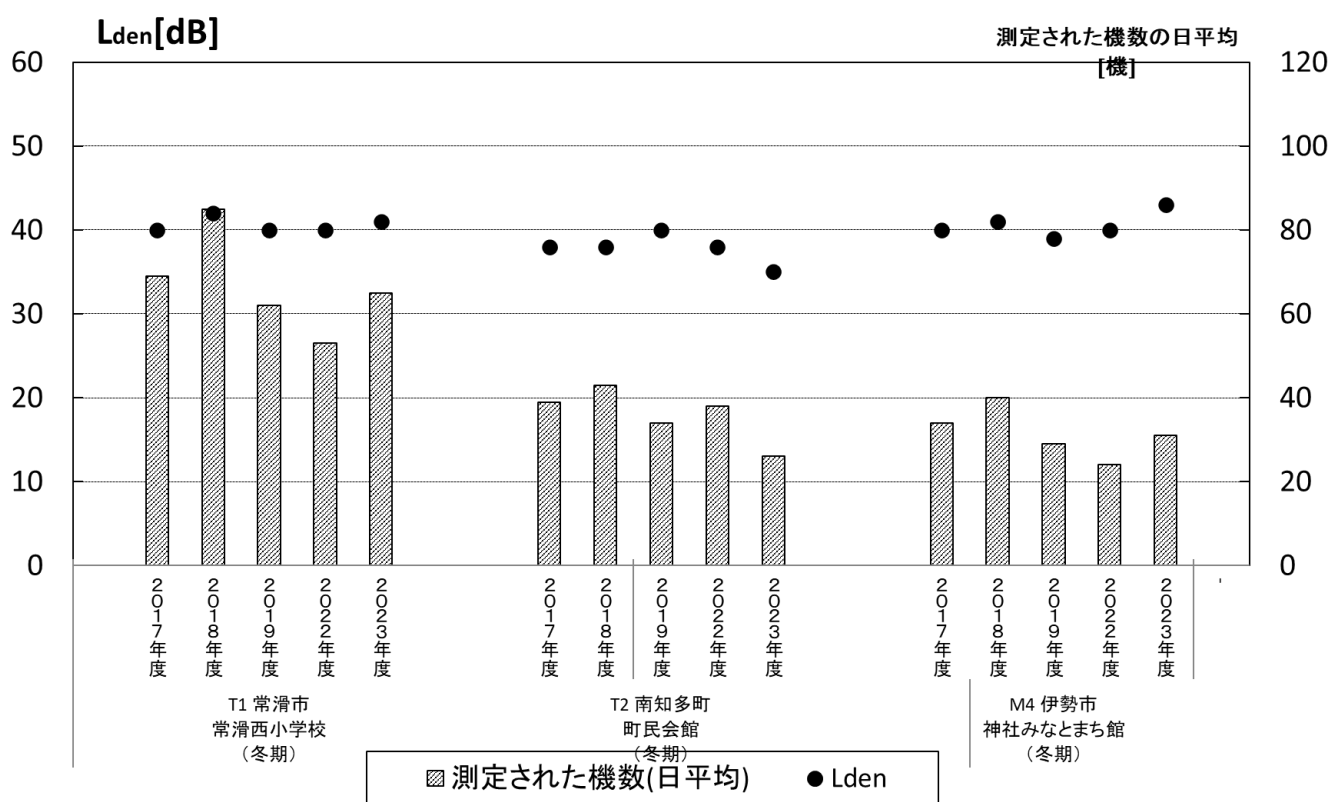


図 3-5(2) 5年間のLdenと測定された機数の推移(T1,T2,M4)

夏期は、各年度測定期間の風向により測定された機数に変動があることに加え、新型コロナウイルスで減少した便数がまだ回復途中ではあるものの、戻りつつあることから、2023年度は常滑を除く6局でLden及び測定された機数の両方で上昇がみられた。冬期は風向が一定しており、測定された機数、Ldenとも南知多を除く2局で毎年度同程度で推移している。

#### (4) 航空機騒音の評価(案)

2023年度の常時監視4局の年間のLdenは42～43dBの範囲にあり、環境基準値(I類型:Lden 57dB以下)と比較した結果、全監視局で環境基準を満たしていた。また、5年間のLdenは同程度に推移した。

2023年度の定期監視9地点の調査期間中のLdenは35dB～46dBの範囲にあり、環境基準値(I類型:Lden 57dB以下)と比較した結果、全調査地点で環境基準を満たしていた。また、2017年～2019年の3年間と2022年～2023年の2年間のLdenは同程度に推移した。

以上より、2023年度の常時監視及び定期監視の結果は環境基準を満たしており、5年間の推移でも大きな変化はみられなかった。

中部国際空港の航空機騒音に関する検討委員会

委員	三重大学大学院教授	寺島 貴根
	名城大学教授	岡田 恭明

# 参考資料 1

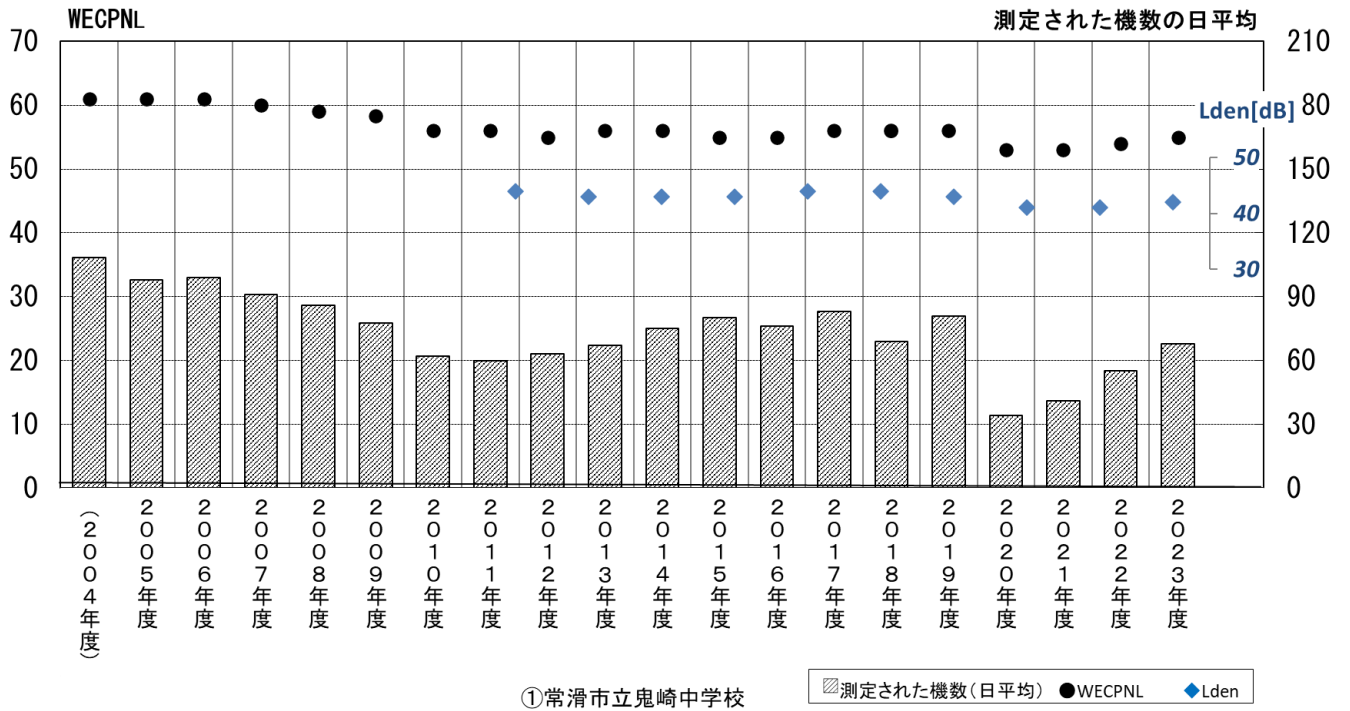
開港からの推移

# 常時監視結果

調査地点	Lden(dB)：上段 測定された機数の日平均(機)：中段 (注1) WECPNL(単位なし)：下段 (注2)																			
	2004年度(注3)	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
①常滑市立鬼崎中学校										44	43	43	43	44	44(注6)	43(注6)	41	41	42	42
	(108)	98	99	91	86	78	62	60	63	67	75	80	76	83	69(注6)	81(注6)	34	41	55	68
	(61)	61	61	60	59	58	56	56	55	(56)	(56)	(55)	(55)	(56)	(56)(注6)	(56)(注6)	(53)	(53)	(54)	(55)
②美浜町野間(ちびっこ広場)										43	44	43	44	44	44	44	41	42	42	43
	(101)	92	94	84	76	68	59	60	47	52	55	58	58	60	62	68	26	30	44	54
	(57)	56	57	57	56	55	55	55	54	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	(52)	(53)	(53)	(54)
③弥富市立大藤小学校										44	45	45	45	45(注5)	45	45	39	41	42	43
	(25)	54	54	51	44	39	41	40	43	41	43	45	46	43(注5)	46	53	14	19	26	31
	(53)	57	58	57	56	56	56	56	56	(55)	(56)	(56)	(56)	(55)(注5)	(56)	(56)	(49)	(51)	(52)	(54)
④木曾岬町東部公民館										45	46	46	45	45	45	45	39	41	42	43
	(6)(注4)	13(注4)	10(注4)	49	43	39	41	40	43	42	44	47	48	45	47	53	14	19	26	33
	(47)(注4)	49(注4)	48(注4)	58	57	57	56	56	56	(56)	(56)	(56)	(56)	(56)	(56)	(56)	(49)	(51)	(52)	(54)

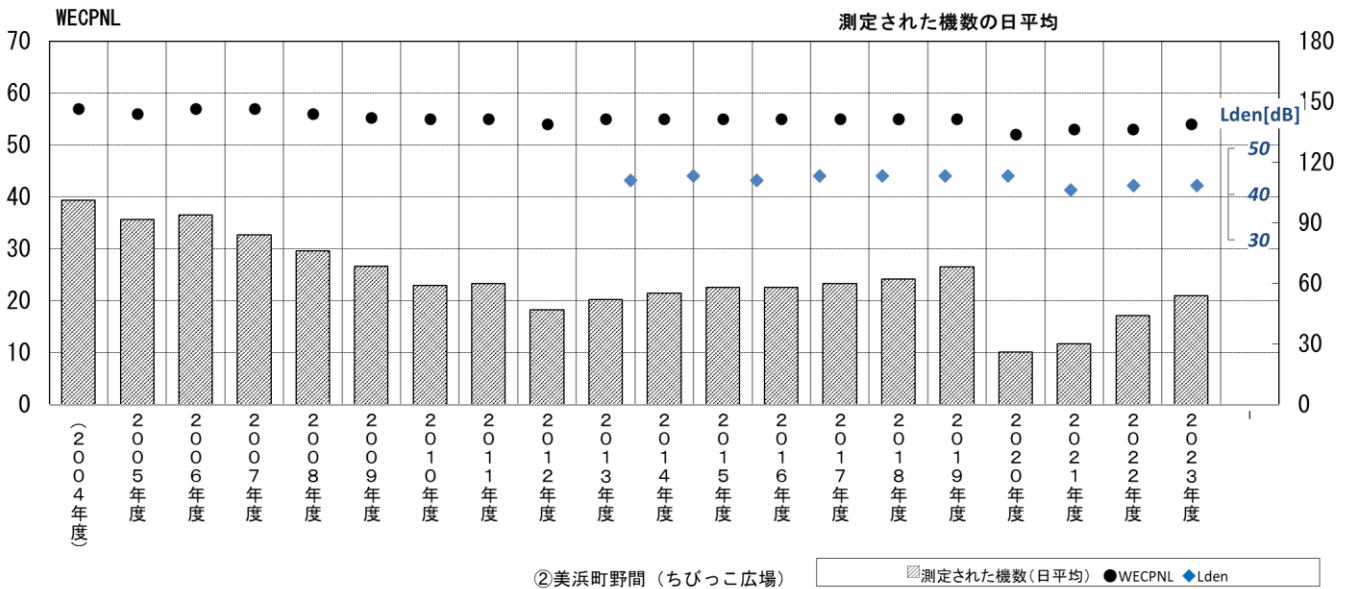
注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数。  
 注2：開港からの推移を把握するために、2013年度から下段の()内にWECPNLを参考値として記載。  
 注3：2004年度は、2005年2月17日～3月31日までの値で、()内に参考値として記載。  
 注4：木曾岬町南部クリーンセンターでの測定値。  
 注5：2017年7月1日～9月30日までは、弥富市立大藤保育園での測定値。  
 注6：2018年8月9日～2019年5月29日までは、常滑市立鬼崎西保育園での測定値。

① 常滑市立鬼崎中学校



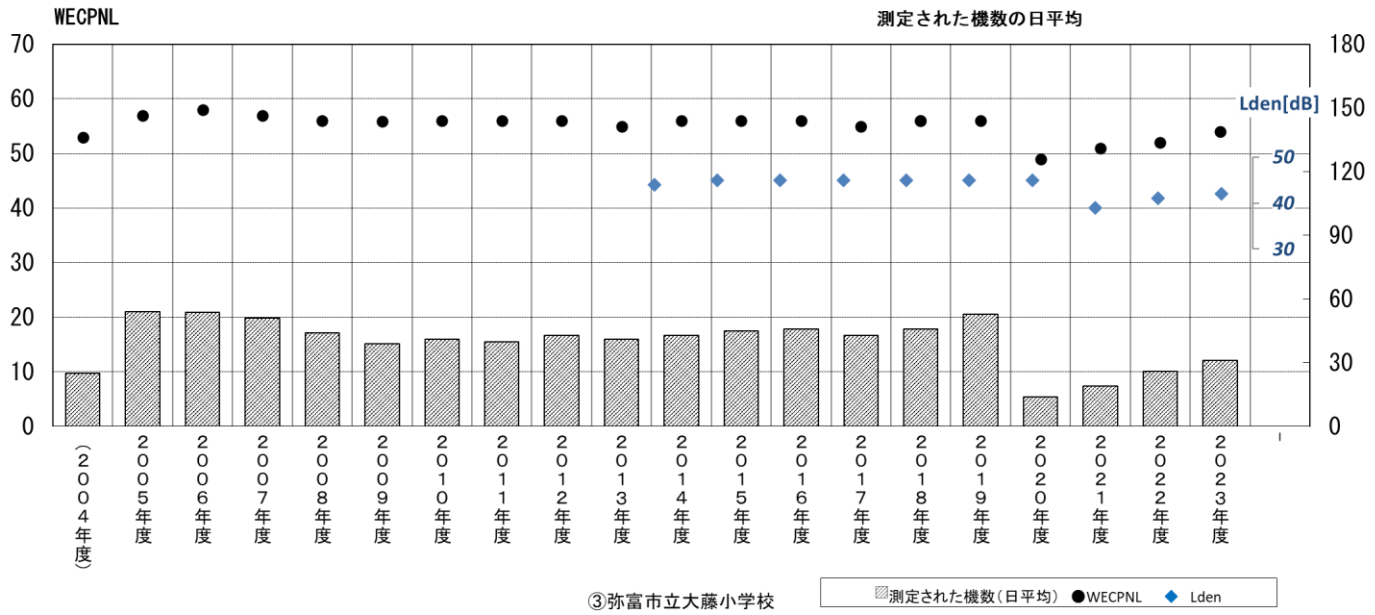
①常滑市立鬼崎中学校

② 美浜町野間 (ちびっこ広場)

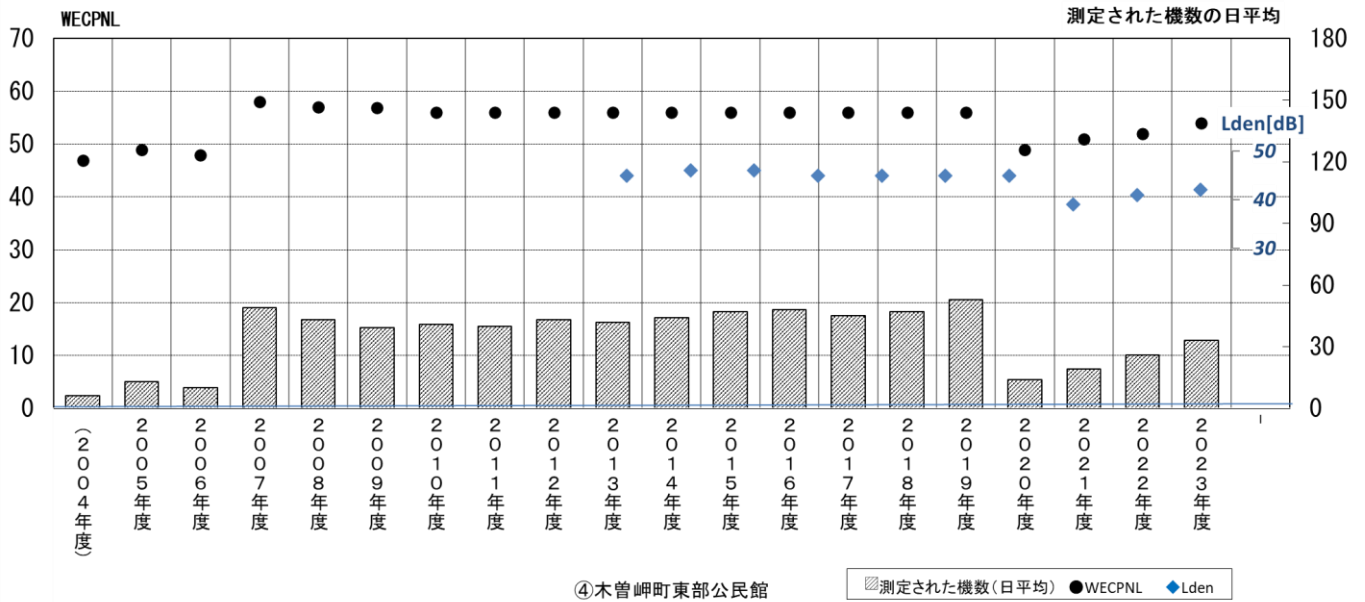


②美浜町野間 (ちびっこ広場)

③ 弥富市立大藤小学校



④ 木曾岬町東部公民館

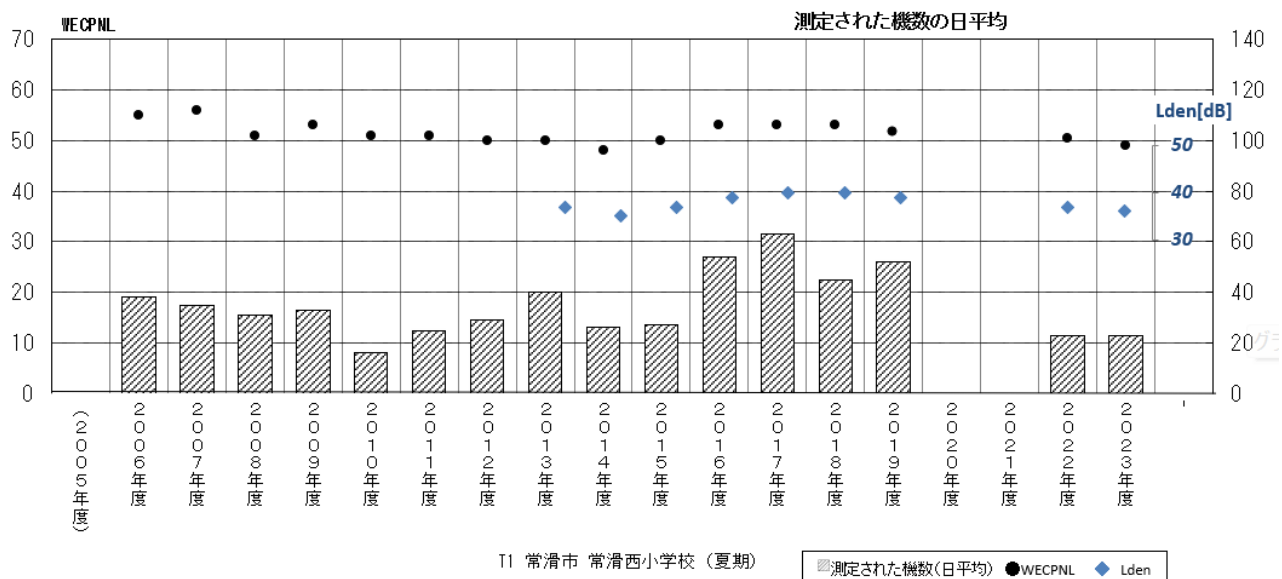


# 定期監視結果 夏期

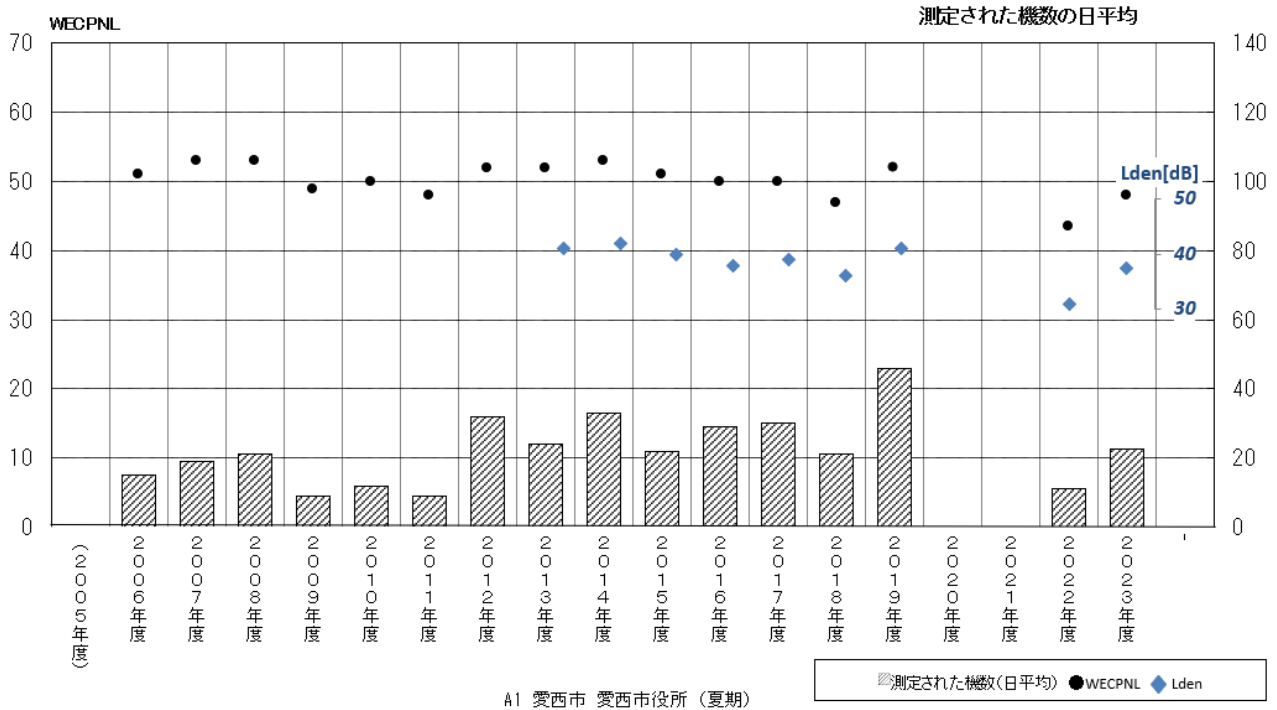
調査地点				定期監視結果（夏期）の推移																			
地区	番号	市町村名	施設名称	上段:Lden値(dB) 中段:測定された機数の日平均(機) 下段:WECPNL値																			
				2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
愛知県	知多	T1	常滑市	常滑西小学校	/	/	/	/	/	/	/	/	37	35	37	39	40	40	39	-	-	37	36
					-	38	35	31	33	16	25	29	40	26	27	54	63	45	52	-	-	23	23
		-	55	56	51	53	51	51	50	(50)	(48)	(50)	(53)	(53)	(52)	-	-	(50)	49				
		-	55	56	51	53	51	51	50	41	42	40	38	39	36	41	-	-	31	37			
	海部	A1	愛西市	愛西市役所	/	/	/	/	/	/	/	/	41	42	40	38	39	36	41	-	-	11	22
					-	15	19	21	9	12	9	32	24	33	22	29	30	21	46	-	-	11	22
		-	51	53	53	49	50	48	52	(52)	(53)	(51)	(50)	(50)	(47)	(52)	-	-	(44)	48			
		-	51	53	53	49	50	48	52	45	45	45	43	44	42	45	-	-	40	41			
	A2	弥富市	十四山西部小学校	/	/	/	/	/	/	/	/	45	45	45	43	44	42	45	-	-	40	41	
				-	54	64	62	52	52	58	73	64	84	66	64	58	56	83	-	-	25	31	
		-	55	57	56	54	54	54	56	(55)	(57)	(56)	(54)	(54)	(54)	(56)	-	-	(51)	51			
		-	55	57	56	54	54	54	56	48	49	48	46	47	45	48	-	-	44	46			
A3	弥富市	鍋田公民館	/	/	/	/	/	/	/	/	48	49	48	46	47	45	48	-	-	44	46		
			-	86	81	78	66	63	72	80	70	96	67	62	63	58	94	-	-	39	52		
	-	59	60	59	58	58	59	59	(59)	(60)	(59)	(57)	(58)	(57)	(59)	-	-	(54)	57				
	-	59	60	59	58	58	59	59	37	39	38	35	38	38	37	-	-	33	35				
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	/	/	/	/	/	/	/	/	37	39	38	35	38	38	37	-	-	33	35	
				-	7	6	8	10	13	18	21	16	24	17	12	19	16	20	-	-	9	11	
		-	48	46	47	47	48	51	51	(49)	(51)	(50)	(48)	(51)	(51)	(49)	-	-	(44)	47			
		-	48	46	47	47	48	51	51	43	46	43	41	43	40	43	-	-	39	40			
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	/	/	/	/	/	/	/	/	43	46	43	41	43	40	43	-	-	39	40	
				-	81	60	70	44	55	67	74	58	86	58	57	61	44	83	-	-	33	42	
		-	58	54	54	52	53	53	56	(54)	(56)	(54)	(52)	(54)	(51)	(54)	-	-	(49)	51			
		-	58	54	54	52	53	53	56	34	39	36	37	38	37	39	-	-	31	36			
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	/	/	/	/	/	/	/	/	34	39	36	37	38	37	39	-	-	31	36	
				-	1	0	1	1	1	0	15	9	22	10	15	20	16	17	-	-	7	10	
		-	42	34	38	40	38	36	48	(44)	(49)	(47)	(46)	(49)	(47)	(49)	-	-	(41)	46			
		-	42	34	38	40	38	36	48	37	39	38	35	38	38	37	-	-	33	35			

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数。  
 注2:開港からの推移を把握するために、2013年度から下段の()内にWECPNLを参考値として記載。  
 注3:2005年度は、定期監視調査を2006年2月に1回目の調査を実施したため、調査結果なし。  
 注4:東部公民館での測定値。  
 注5:市江コミュニティセンターでの測定値。  
 注6:陵成中学校での測定値。

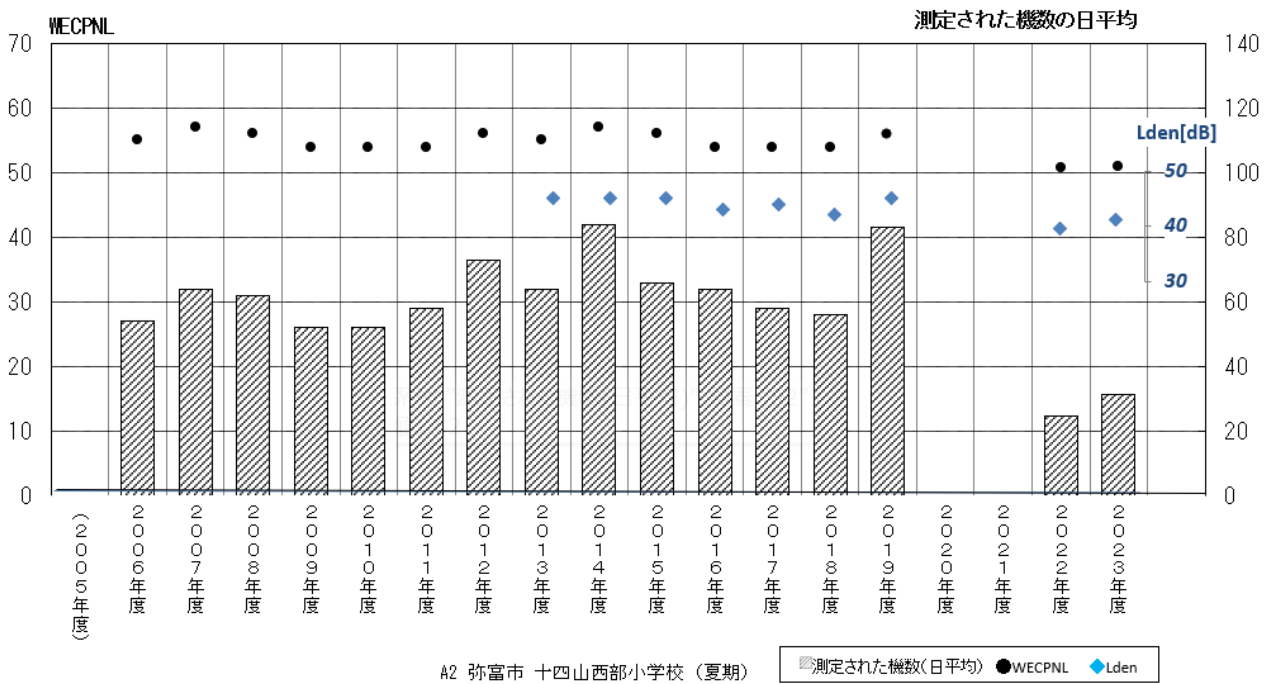
## T 1 常滑市常滑西小学校



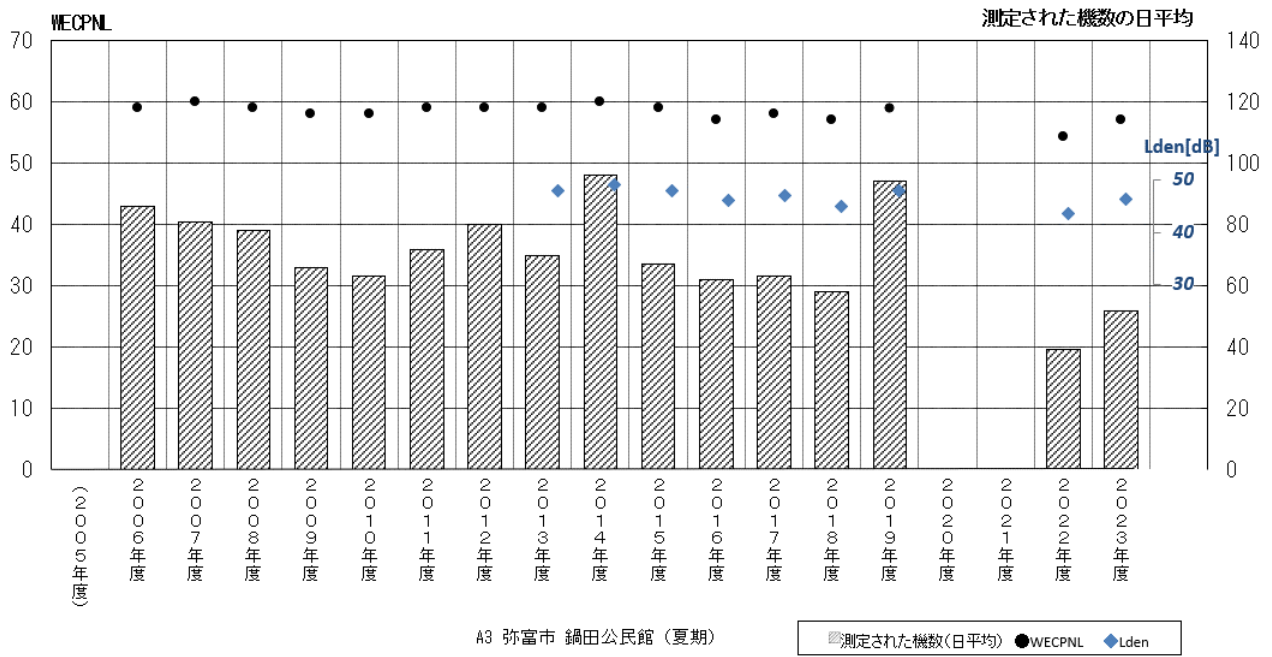
## A 1 愛西市役所



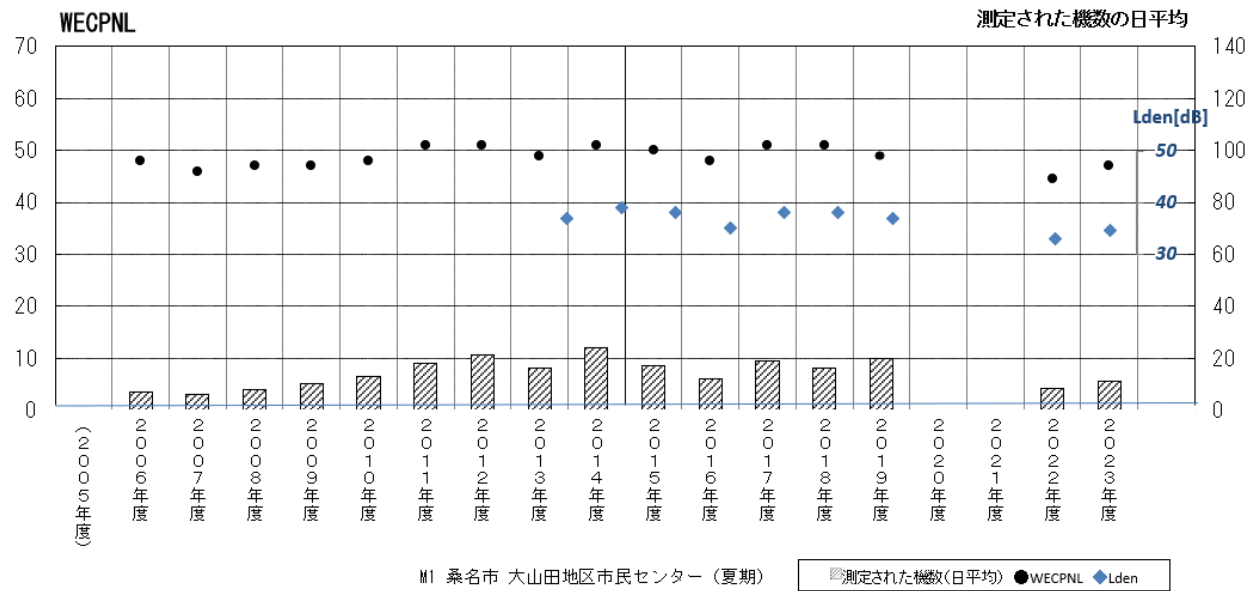
## A 2 弥富市十四山西部小学校



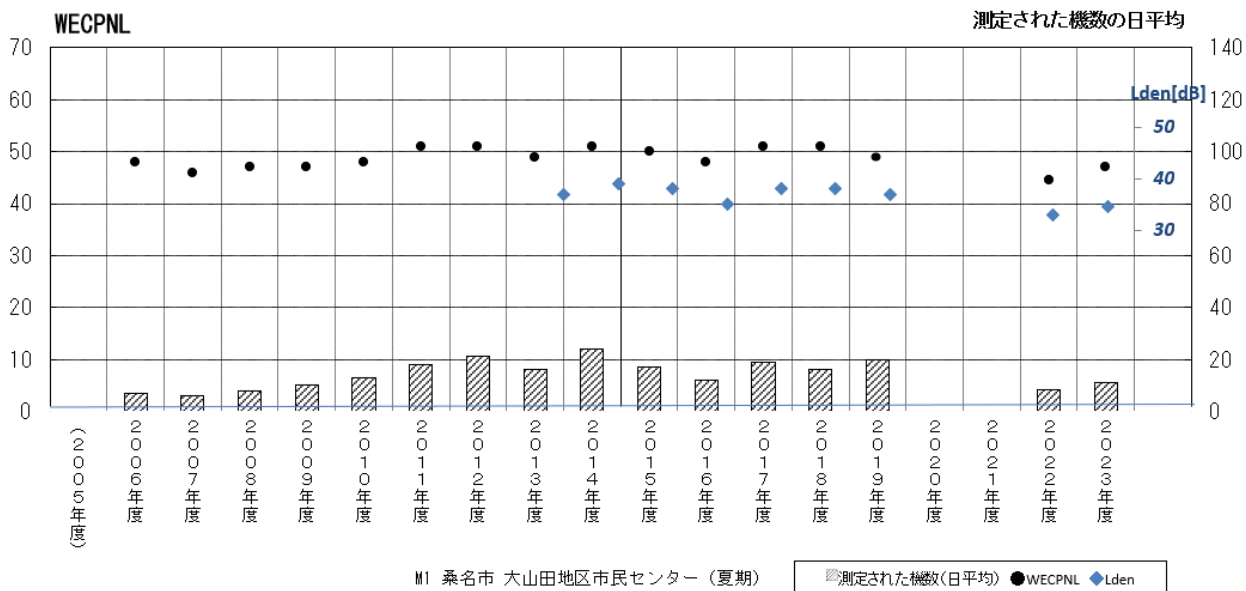
### A 3 弥富市鍋田公民館



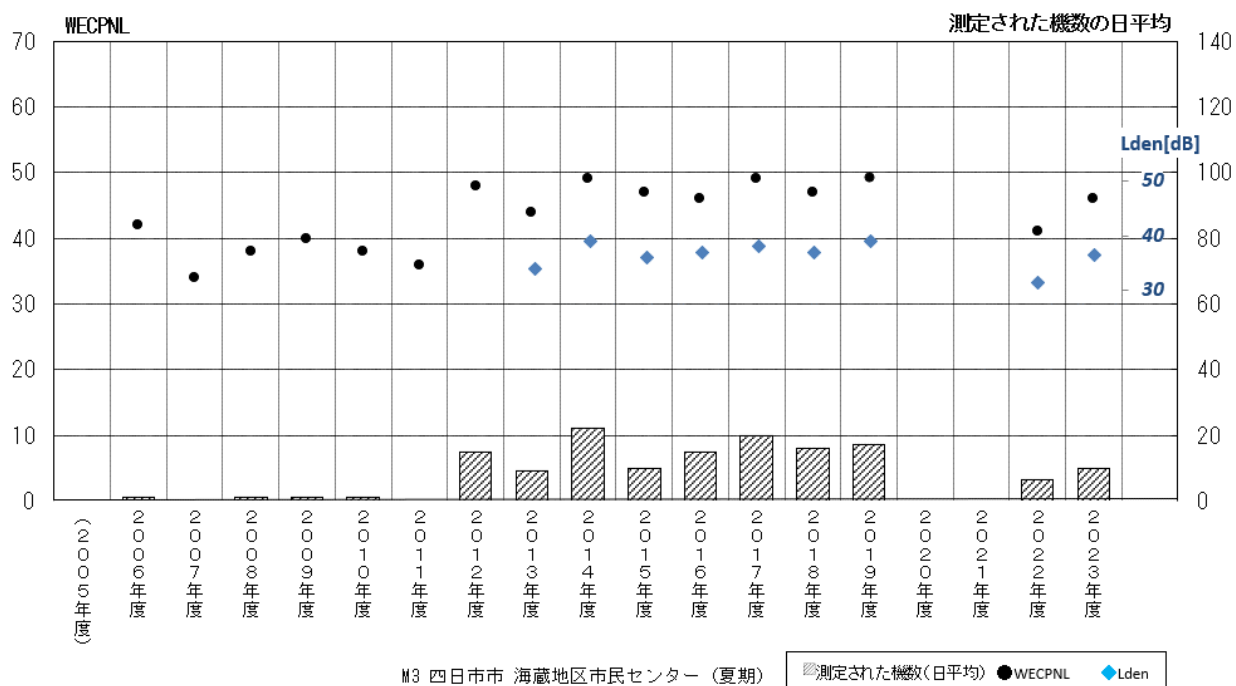
### M1 桑名市大山田地区市民センター



## M2 木曾岬町多目的共同利用施設



## M3 四日市市海蔵地区市民センター

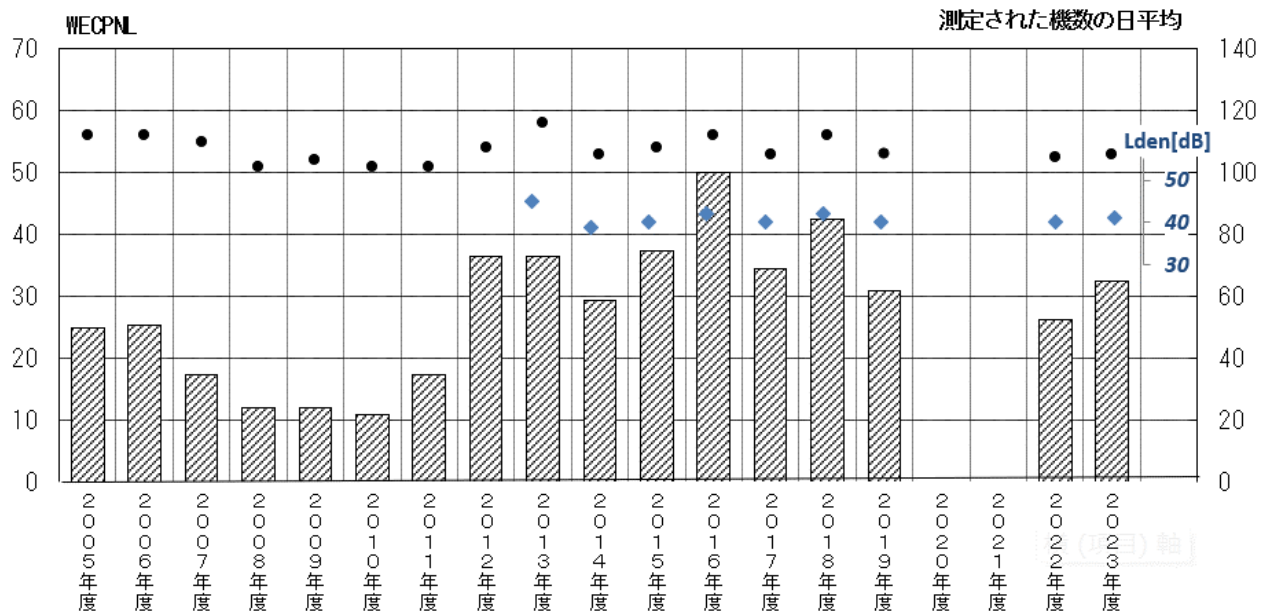


冬期

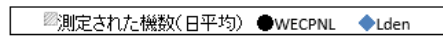
調査地点				定期監視結果（冬期）の推移																			
地区	番号	市町村名	施設名称	上段:Lden値(dB) 中段:測定された機数の日平均(機) <sup>(注1)</sup> 下段:WECPNL値 <sup>(注2)</sup>																			
				2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 <sup>(注3)</sup>	2021年度 <sup>(注3)</sup>	2022年度	2023年度	
愛知県	T1	常滑市	常滑西小学校										45	39	40	42	40	42	40	-	-	40	41
				50	51	35	24	24	22	35	73	73	59	75	100	69	85	62	-	-	53	65	
				56	56	55	51	52	51	51	54	(58)	(53)	(54)	(56)	(53)	(56)	(53)	-	-	(53)	53	
	T2	南知多町	町民会館体育館										36	39	38	39	38	38	40	-	-	38	35
				8	24	19	14	6	10	12	21	17	54	60	48	39	43	34	-	-	38	26	
				49	51	49	49	47	49	50	51	(50)	(53)	(50)	(53)	(51)	(52)	(51)	-	-	(52)	50	
三重県	M4	伊勢市	神社みなとまち館									39	40	40	40	40	41	39	-	-	40	43	
				11	21	16	11	12	13	23	26	25	26	36	27	32	40	29	-	-	24	31	
				50	52	49	46	48	49	51	52	(52)	(54)	(53)	(53)	(53)	(55)	(53)	-	-	(53)	58	

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数。  
 注2:開港からの推移を把握するために、2013年度から下段の()内にWECPNLを参考値と記載。  
 注3:2020年度と2021年度は新型コロナウイルスの影響で運航便数が減少したため定期調査は中止した。

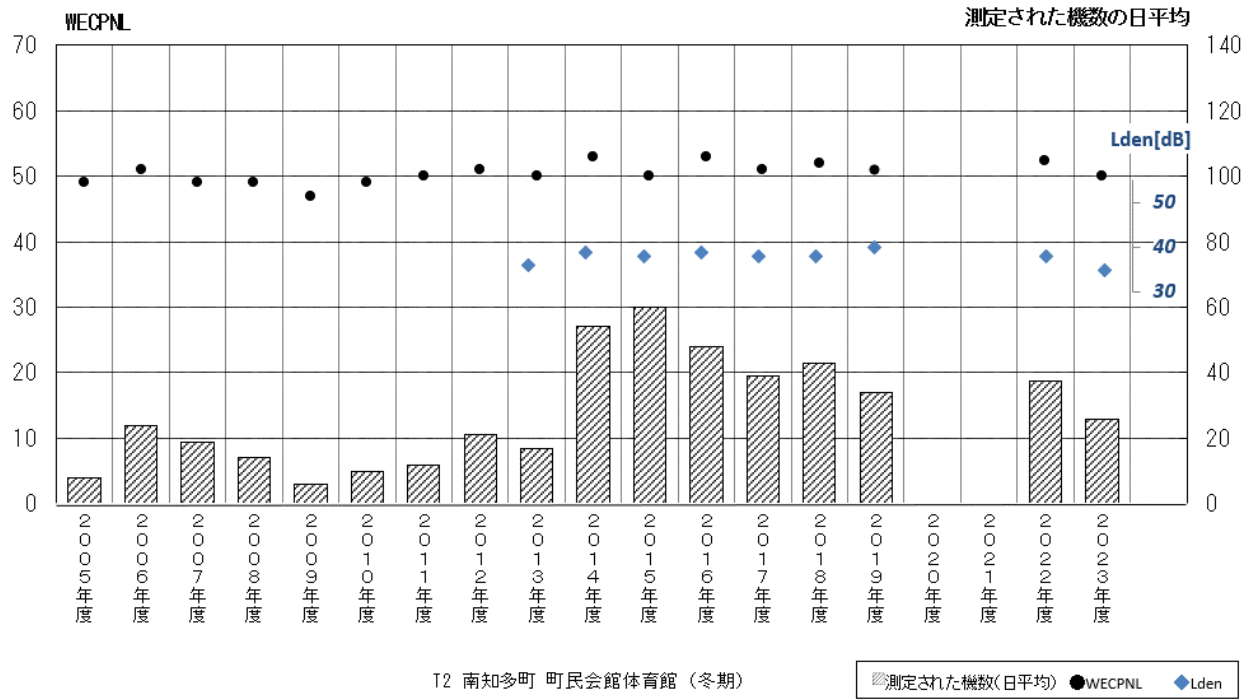
T1 常滑市常滑西小学校



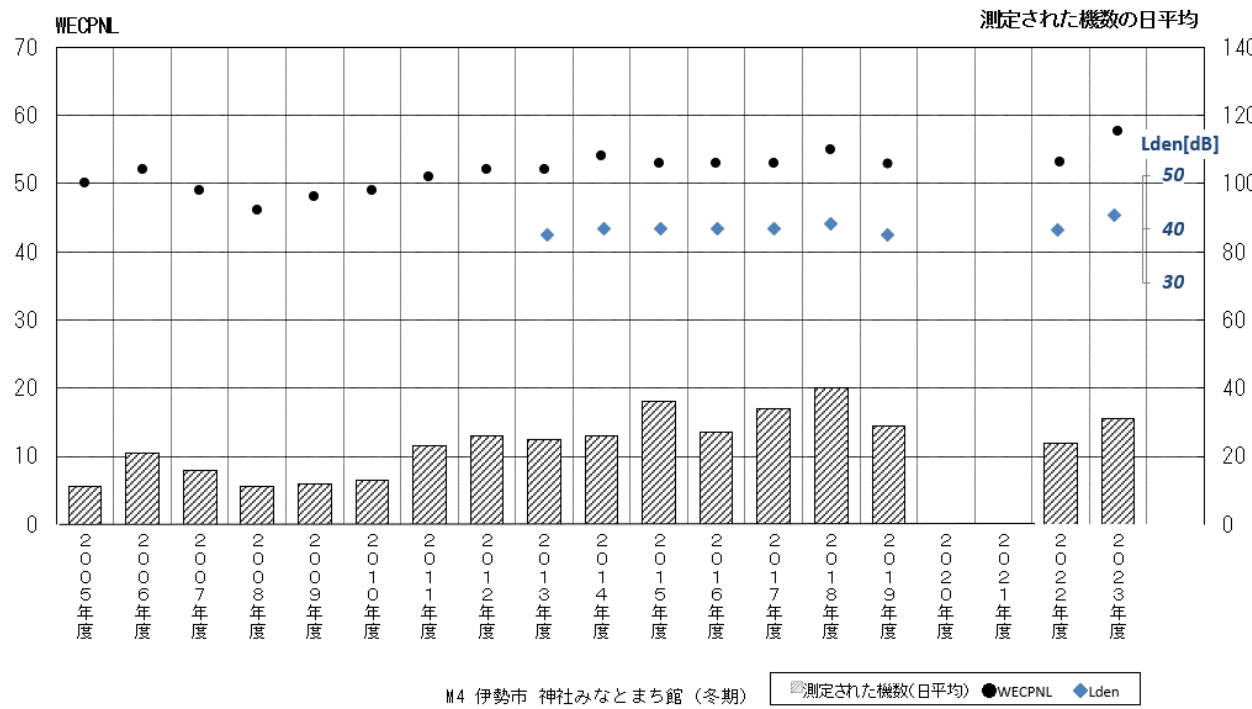
T1 常滑市 常滑西小学校 (冬期)



T 2 南知多町町民会館



M4 伊勢市神社みなとまち館



## 参考資料 2

航空機騒音に係る相談件数

① 航空機騒音相談件数の状況

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
愛知県	79	490	448	409	245	297	206	233	263	280	265	250	190	150	105	98	110	72	58	45
うち名古屋市	4	29	13	15	13	25	13	18	2	27	9	6	3	0	0	2	3	2	3	12
岐阜県	0	1	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	1	2	3	1	0	2	0
三重県	27	162	93	59	47	31	24	31	27	26	72	88	98	122	153	97	19	7	8	29
在住不明 その他	0	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	4	3
計	106	658	545	471	295	329	230	264	294	306	337	338	288	273	261	199	131	81	72	77
類型	106	764	1,309	1,780	2,075	2,404	2,634	2,898	3,192	3,498	3,835	4,173	4,461	4,734	4,995	5,194	5,325	5,406	5,478	5,555

② 2023年度 相談内容別件数

区 分	主な相談内容等
<b>飛行経路・高度へのお叱り</b> <b>51件</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いついつに飛んだ飛行機の高度・行き先を知りたい</li> <li>○陸域を低空で飛ばさないでほしい(海域を飛ばすように。)</li> <li>○我が家の上空を飛行するな。(低くて脅威だ。)</li> <li>○飛行経路を知りたい。(飛び方・便数など詳しい内容を知りたい。)</li> <li>○開港時に比べて飛行経路が守られていないのではないか。(最近、高度が低い)</li> </ul>
<b>航空機騒音に対するお叱り</b> <b>26件</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○深夜・早朝の飛行機の音がうるさい。(特に深夜の騒音で眠れない)</li> <li>○飛行機の音がうるさい。(最近、また気になるようになった。)</li> <li>○最近、飛行機の通過が増えて、飛行機の音がうるさい。</li> <li>○ヘリコプターの音がうるさい。</li> <li>○着陸機の到着時の騒音がうるさい。</li> </ul>

## 参考資料 3

中部国際空港に係る環境監視計画

中部国際空港に係る

# 環 境 監 視 計 画

2016年4月改定

中部国際空港株式会社

## 目 次

第1章 環境監視についての基本的な考え方	1
1.1 環境監視の目的	1
1.2 環境監視計画の内容等	1
1.3 環境監視の実施	1
1.4 環境監視結果の評価	1
1.5 対策	1
1.6 環境監視結果の公開等	2
第2章 環境影響要因	4
2.1 環境影響要因	4
2.2 場所及び規模	4
2.3 航空機の運航	4
2.4 空港施設概要	4
第3章 環境監視計画	8
3.1 調査	8
3.2 環境監視情報処理システム	12

# 第1章 環境監視についての基本的な考え方

本計画は、2005年2月17日からの中部国際空港の供用に伴う周辺地域に対する環境影響を把握するため、事業者の責任において自主的に環境監視を実施する内容を定めたものである。

## 1. 1 環境監視の目的

- (1) 中部国際空港の供用に伴う環境に及ぼす影響を把握し、必要に応じて適切な措置を講じることにより環境の保全を図る。
- (2) 環境監視の結果を広く一般に公開し、事業に対する理解の促進に努める。

## 1. 2 環境監視計画の内容等

調査項目、調査地点、調査頻度などの環境監視計画の具体的な内容は、事業計画、環境影響評価書の内容及び環境監視結果を踏まえ設定する。

なお、環境監視計画については、必要に応じて見直しを行う。これに当たっては、専門分野の学識経験者及び関係自治体の意見を聴き、事業者が計画内容を定める。

## 1. 3 環境監視の実施

環境監視については、環境監視計画に基づいて適切に実施する。

環境監視に当たっては、日常的にデータの検討を行うとともに、迅速な環境保全の措置を講じることができる体制の整備を図る。

## 1. 4 環境監視結果の評価

環境監視結果については、専門分野の学識経験者の公正・中立な評価を受ける。

評価に当たっては、周辺地域に与える影響の程度を環境監視結果を基に行政機関等の一般環境データを参考として、環境基準や周辺地域の経年的な環境変化の傾向等と対比するなど、科学的・客観的に行う。

## 1. 5 対策

環境監視結果等から何らかの異常があると認められる場合については、関係機関と連携して原因を究明するとともに、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対応を行う。

## 1. 6 環境監視結果の公開等

環境監視結果については、情報コーナーやインターネット等を用いて環境監視データの速報及び環境監視の評価結果を一般公開する。

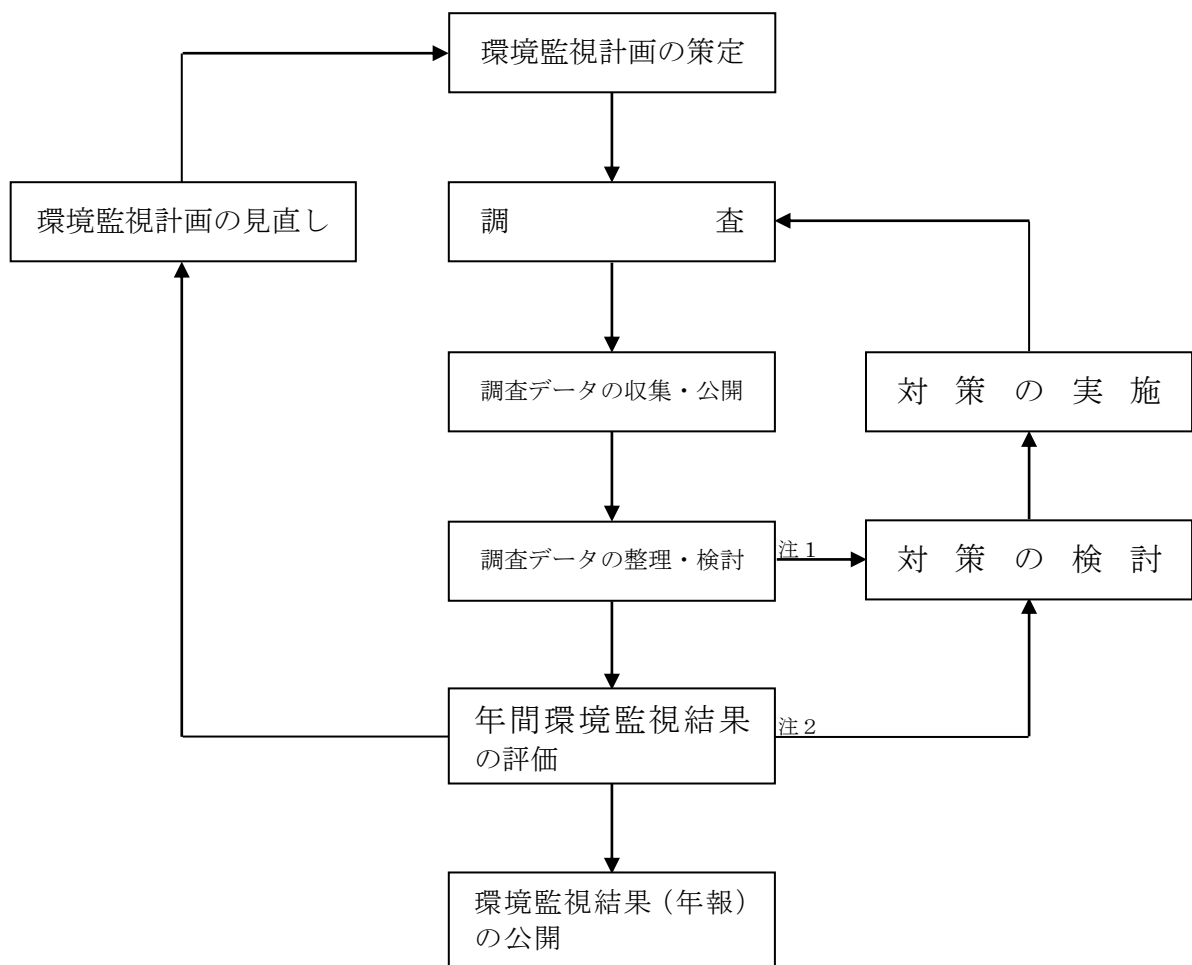
環境監視結果の公開方法は、次のとおりとし、月報、年報については、岐阜・愛知・三重県、名古屋市、関係市町村等に報告する。

<環境監視結果の公開方法>

- ・ セントレア情報コーナーでのパソコン上でデータの公開
- ・ セントレア情報コーナー等での月報及び年報の公開
- ・ インターネットによるデータの公開

また、環境に関する理解や関心を深めていただくため、環境監視に係る調査項目や調査地点などをまとめたリーフレット等を作成する。

※情報コーナーは休館中。



注1：日々の調査データを整理・検討した結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

注2：調査データについて、年間を通して評価された結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

図1 環境監視の概念図

## 第 2 章 環境影響要因

### 2. 1 環境影響要因

空港の供用に係る環境影響要因として、中部国際空港の運用に伴う航空機の運航等がある。

### 2. 2 場所及び規模

(1) 場所 (図 2-1 参照)

愛知県常滑市セントレアの一部 (空港用地)

(2) 規模

470ha

### 2. 3 航空機の運航

(1) 飛行経路 (図 2-2、2-3 参照)

(2) 滑走路 1本、3500m

(3) 飛行機材 B737、B767、B787、B777、B747、A320、A330、A340、DH8、CRJ等

(4) 離着陸回数 約9.2万回/年 (2014年度実績)

### 2. 4 空港施設概要

離着陸施設 (滑走路、誘導路、航空保安施設等)

エプロン

航空旅客取扱施設 (国内・国際旅客ターミナルビル、機内食工場等)

航空貨物取扱施設 (国内・国際貨物取扱施設)

管理施設 (庁舎、管制塔、空港管理棟等)

供給処理施設 (航空機給油施設、エネルギー供給施設等)

その他施設 (道路等)

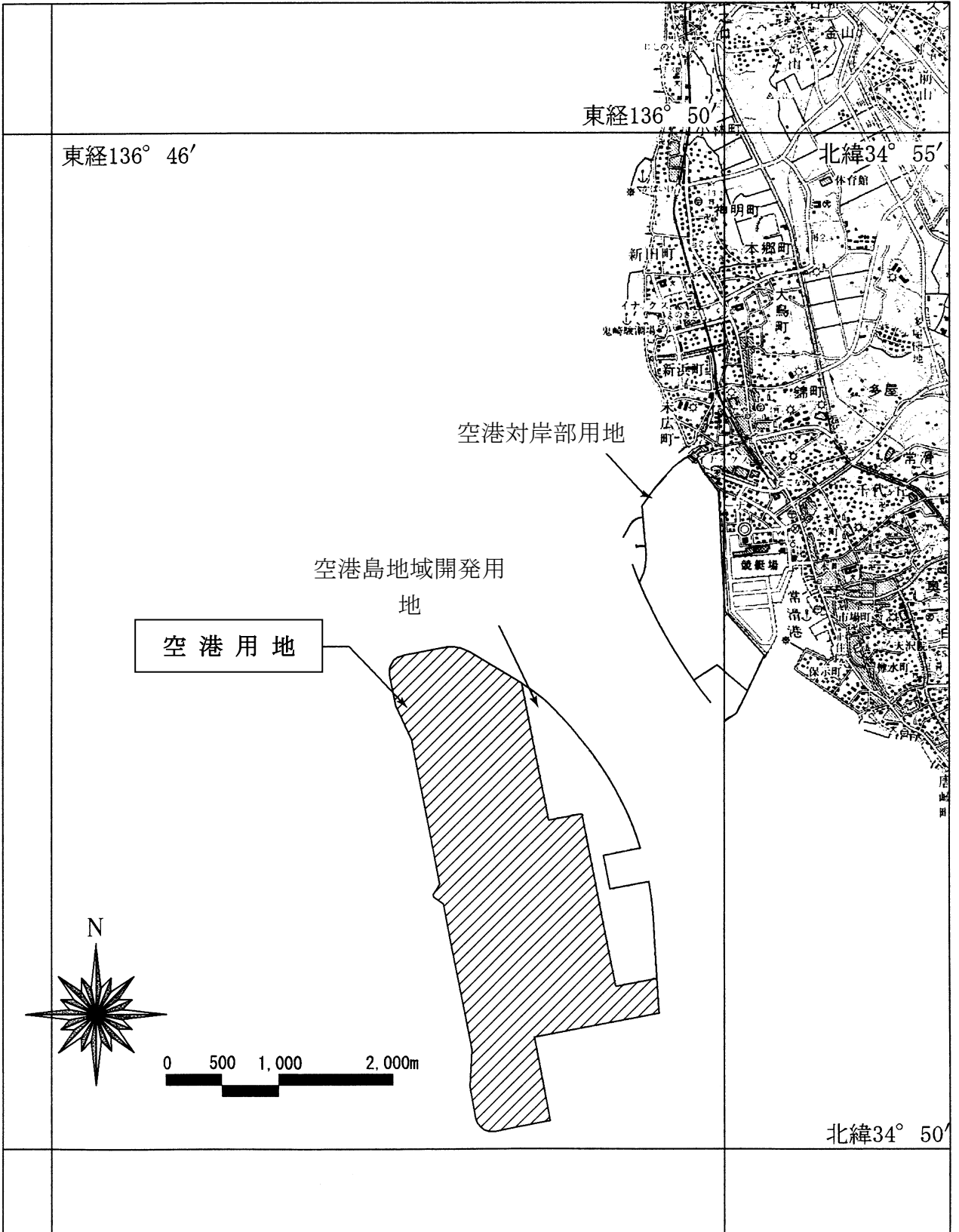
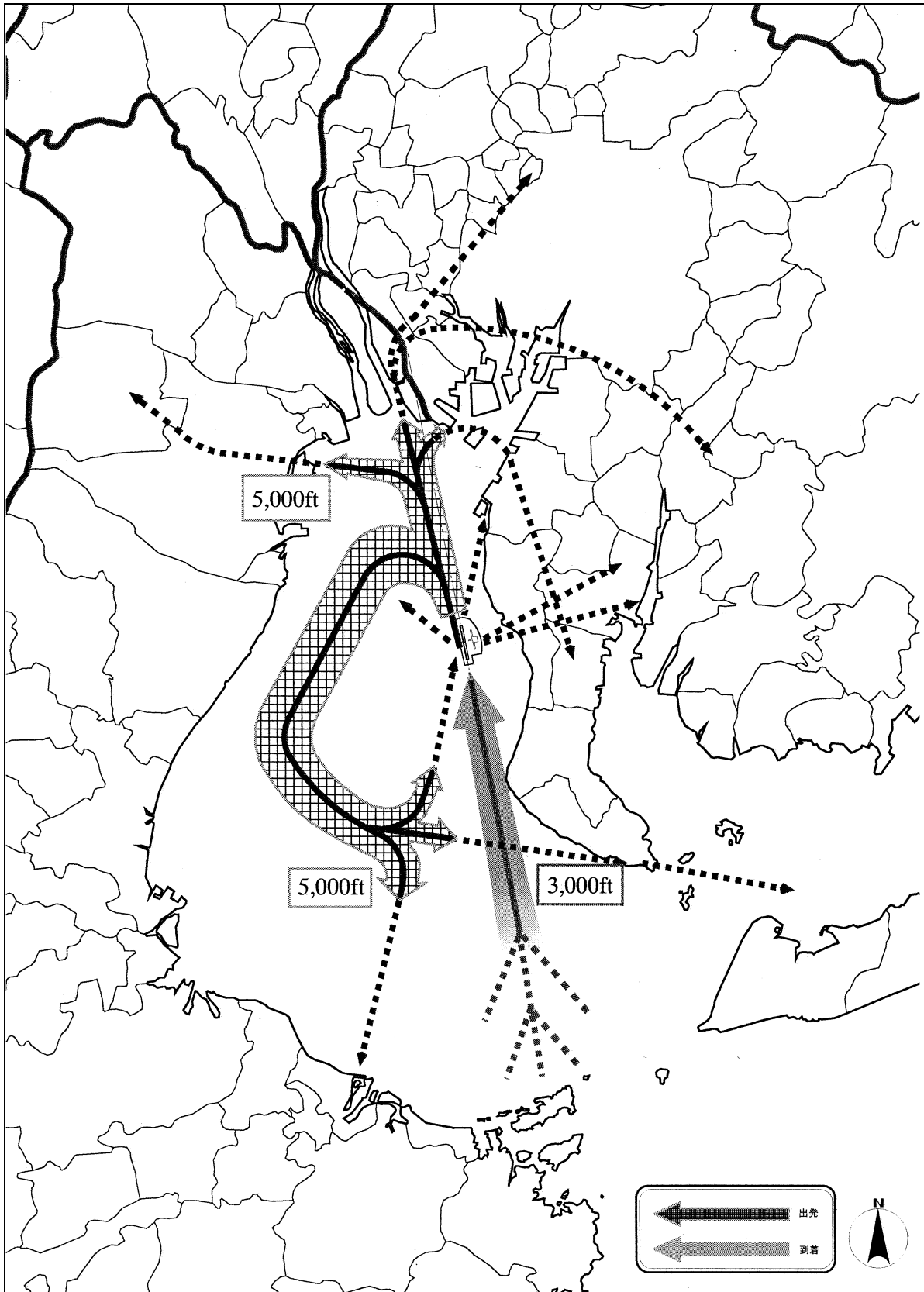
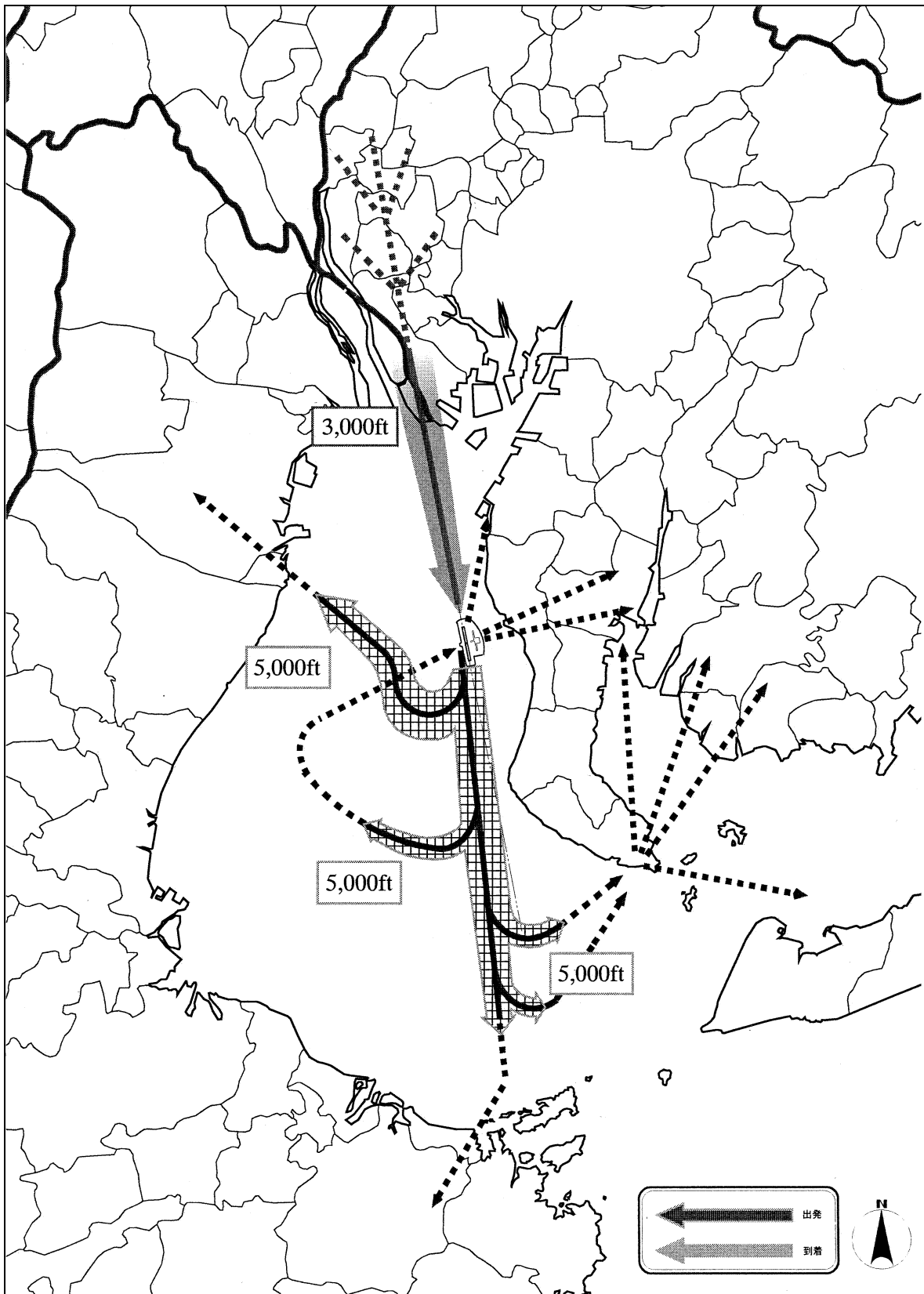


図 2 - 1 場所及び形状



\* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図2-2 飛行経路（北向き運用：6～23時）



\* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図2-3 飛行経路 (南向き運用: 6~23時)

## 第3章 環境監視計画

### 3. 1 調査

#### (1) 調査の考え方

空港の供用が環境に及ぼす影響を適切に把握するため、以下の考え方に基づき調査を実施する。

なお、必要に応じて原因を究明するための調査や周辺環境の基礎情報を収集するための調査を実施する。

#### ア 調査項目

空港の供用に伴う環境影響、環境影響予測項目、環境監視結果を踏まえ、「騒音」を設定する。

#### イ 調査地点

地域の環境特性を考慮して、空港の供用による周辺環境への影響の程度が的確に把握できるよう配慮し設定する。

#### ウ 調査期間

周辺環境への影響の程度を考慮して設定する。

#### エ 調査頻度・時期

環境質の特性、空港の供用に伴う環境負荷の発生状況に応じ、環境の的確な把握が行えるように設定する。

#### オ 調査方法

各種法令やJIS等の規定に準拠する。

## (2) 調査の内容

調査の内容は次のとおりである。

調査項目			調査地点	調査頻度・時期	調査方法
騒音	航空機騒音	常時監視	図3-1 (4地点)	常時	表3
		定期監視 注	図3-1 (9地点)	夏期7箇所 (T1, A1, A2, A3, M1, M2, M3) 冬期3箇所 (T1, T2, M4)	表3

注 定期監視については、今後の調査結果を踏まえ、見直しを行う。

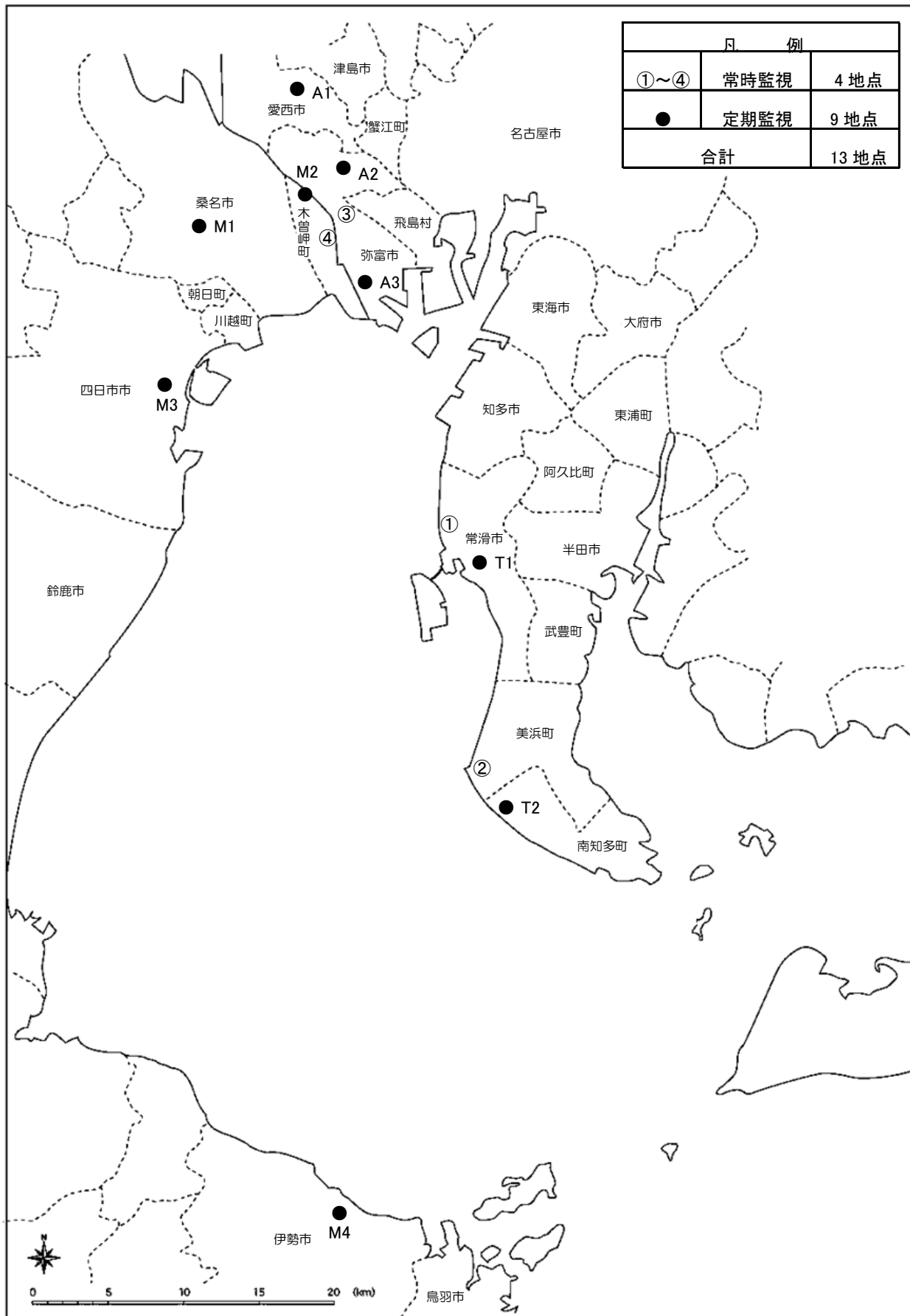


図 3 - 1 航空機騒音の調査地点

<航空機騒音調査地点一覧表>

1 常時監視地点

地 点	場 所
①	常滑市立鬼崎中学校
②	美浜町野間(ちびっこ広場)
③	弥富市立大藤小学校
④	木曾岬町東部公民館

2 定期監視地点

(1) 愛知県知多地区

地 点	場 所	調査時期
T1	常滑市立常滑西小学校	夏期、冬期
T2	南知多町町民会館	冬期

(2) 愛知県海部地区

地 点	場 所	調査時期
A1	愛西市役所	夏期
A2	弥富市立十四山西部小学校	夏期
A3	弥富市鍋田公民館	夏期

(3) 三重県

地 点	場 所	調査時期
M1	桑名市大山田地区市民センター	夏期
M2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設	夏期
M3	四日市市海蔵地区市民センター	夏期
M4	伊勢市神社みなとまち館	冬期

表3 航空機騒音

項 目	調 査 方 法
航空機騒音	「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和48年環境庁告示第154号、改正平成19年環境省告示第114号)及び「航空機騒音測定・評価マニュアル」(平成24年11月環境省)に定める方法

### 3. 2 環境監視情報処理システム

各種調査データの収集・処理を迅速かつ効率的に取り扱うため、テレメータシステム及びコンピュータを用いたデータ処理システムによってデータの収集・処理、管理を行う。

環境監視情報処理システム機能概要図は、図3-2のとおりである。

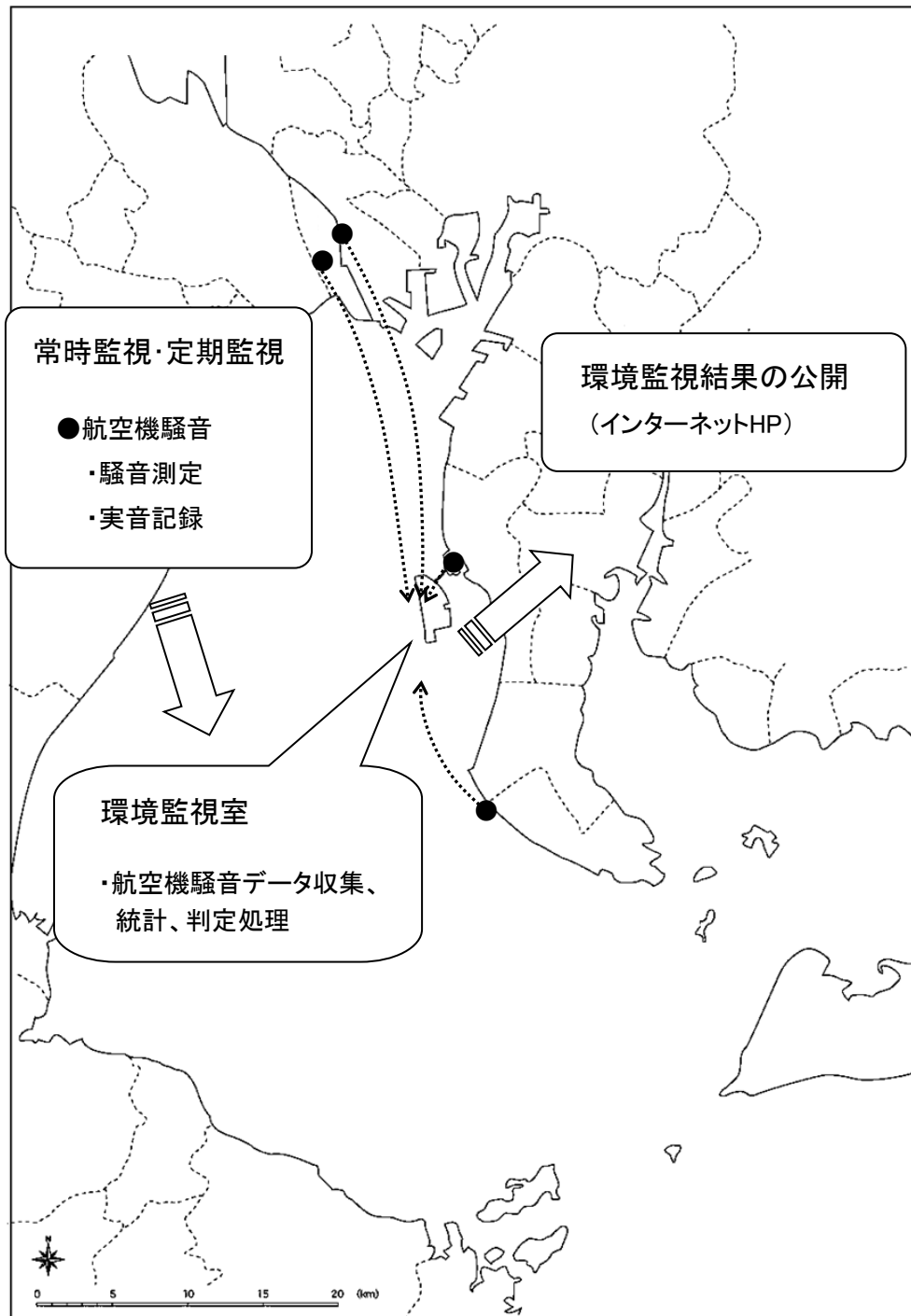


図3-2 環境監視情報処理システム機能概要図